

保証とアフターサービス

●保証書

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日から1年間です。

●補修用性能部品の最低供給年限

この製品の補修用性能部品の最低供給年限は製造終了後3年です。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●ご不明な点に関するご相談

お買い上げの販売店にお問い合わせください。

●修理を依頼される場合

「故障かな?と思ったら」にしたがってお確かめいただき、なお問題が解決しない時は、電源を切り、販売店にご連絡ください。

●保証期間中は

修理の際は保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって販売店が修理させていただきます。

●保証期間が過ぎている時は

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。販売店にご相談ください。



このたびは本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に、本説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱い
いただきますようお願い致します。



保証書

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から1年以内に故障した場合は本書をご提示の上お買い上げの販売店または当社サービスステーションに修理をご依頼ください。

品名	ファクトインコール		
無料修理保証期間	1年	お買い上げ日	年 月 日
お客様	住所 〒		
	TEL		
	氏名		
販売店名	印		

INDEX

安全上のご注意	1
はじめに	4
受信表示機	6
携帯受信表示機	18
充電器	26
受信スピーカー	28
送信機	30
消去&設定機	36
中継機(リピーター)	42
お手入れ方法	50
故障かな?と思ったら	50
仕様	51
ディップスイッチ設定一覧	54
保証とアフターサービス	58

安全上のご注意

※ご使用前に、「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくお使いください。

※ここで示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、ご使用になる方や他の人々への危害、損害を未然に防止する為のものです。

注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」、「注意」の2つに区分しています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

⚠ 警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が損傷を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



・この記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。



・この記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や、近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



・この記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。

⚠ 警告



●お手入れの前には、電源プラグを抜いてください。（感電のおそれがあります。）



●コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。（感電やショートして発火することがあります。）

●コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、ひっぱったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。（感電やショートして発火することがあります。）

⚠ 警告 (つづき)



- 製品に水や洗剤をかけないでください。
- 水のかかるところや、湿気の多い場所には設置しないでください。(火災や感電のおそれがあります。)



- 修理技術者以外の方は、分解したり、修理・改造は行わないでください。(火災や感電のおそれがあります。)



- コードを乱暴に扱わないでください。
- 電源プラグの刃及び刃の取付面にほこりが付着している場合は、よく拭いてから使用してください。(火災や感電のおそれがあります。)



- 煙が出たり、変な臭いや音がするときは、使うのをやめ、電源プラグを抜いてください。(火災や感電のおそれがあります。)
- 内部に水や異物などが入ったときや外装ケースが破損したときは、使うのをやめ、電源プラグを抜いてください。(火災や感電のおそれがあります。)



- ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしないでください。(感電の原因となります。)

⚠ 注意



- 電源コードを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って抜いてください。(感電やショートして発火することがあります。)



- 不安定な場所や火気の近くでは使用しないでください。(変形・故障の原因となります。)



- 送信機・消去機の乾電池は極性に注意して表示通りに入れてください。また新しい乾電池と古い乾電池、種類の異なる電池を混ぜて入れないでください。(乾電池の液漏れ・故障の原因となります。)

⚠ 注意 (つづき)



- 乾電池は充電しないでください。(乾電池の液漏れ・故障の原因となります。)



- 受信機・外部アンテナを移動させるときは、アンテナを折りたたんでから移動させてください。(アンテナが折れたり、アンテナの先でけがをする原因となります。)



- 長期間、ご使用にならないときは、安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。(火災の原因となります。)



- 雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないでください。(火災や感電のおそれがあります。)



- 強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。
- 通気孔をふさがないでください。(火災や故障の原因となります。)
- 磁気を帯びたものを近づけないでください。(故障の原因となります。)

ご注意

- ファクトインコールは報知・連絡用です。生命救済、犯罪防止を目的にした機器ではありません。
- 電波の届く距離は使用場所や条件によって短くなる場合があります。

■設置場所に関するご注意

電波を受信する受信表示機・携帯受信表示機・受信スピーカー・中継機(リピーター)は、周囲のノイズ(妨害電波)に影響を受けた場合、送信機・消去機・携帯受信表示機からの信号を的確に受信できず正常に作動しない場合があります。

受信表示機・受信スピーカー・中継機(リピーター)は、ノイズ(妨害電波)を発生させやすい機器から2メートル以上離して設置するようにしてください。

また、壁面に設置する場合は、その壁の裏側にもご注意ください。

他に、電波やノイズを発生させやすい機器がある場合は、事前にご相談ください。

◎ノイズ(妨害電波)を発生させやすい機器の例
空調機・室外機 / 冷蔵庫 / 冷蔵ケース・室外機 / 通信関連の中継機(OES・携帯電話・無線LAN) / その他消費電力(W数)の多い電気器具のオン・オフ時等

はじめに

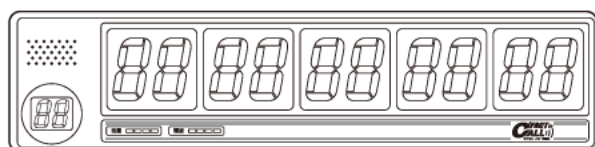
製品紹介

ファクトインコールは以下の製品を組み合わせることで、コードレス・チャイム・システムとして機能します。

受信表示機

■標準型

3色のLEDで色分け表示できるモデルです。



- ➡赤・黄・緑の3色表示
- ➡各色255通りの設定自由自在
- ➡先着順に番号表示
- ➡コール残数表示
- ➡時間経過を点滅表示でお知らせ

■携帯受信表示機(消去機能付)

バイブレーション機能も備えたモデルです。



約30秒点灯 → ゆるやかな点滅表示 → 30秒後 → 点滅表示 → 30秒後 → 早い点滅表示
(2秒点灯/0.5秒消) (1秒点灯/0.5秒消) (0.5秒点灯/0.5秒消)

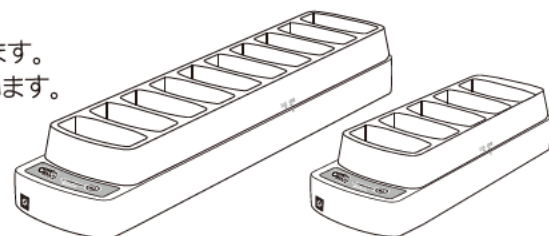
標準型受信表示機ならびに携帯受信表示機は3色LEDを搭載しており、色違いの同一番号表示に対応しています。

※但し、色違いの同一番号を消去する場合、消去&設定機以外で消去操作を行うと、番号はすべて消去されます(色別で消去することはできません)。

充電器

■充電器

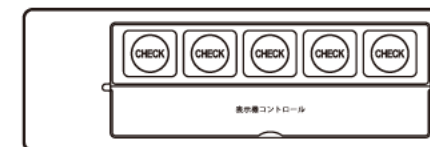
複数の携帯受信表示機を一度に充電できます。
10台タイプと5台タイプをラインナップしています。



消去&設定機

■消去&設定機

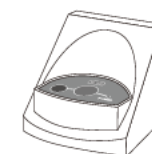
受信表示機の表示を消去する際に使用します。
また受信表示機の各種設定を行うことができます。



送信機

■スタンダード型

アンテナ基盤内蔵の高効率送信機です。
2つのボタンで呼び出しと消去ができます。



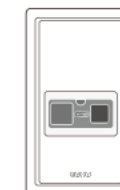
■丸型

押しやすい大きなボタンの送信機です。
長押しで消去できます。



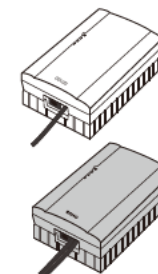
■カード型

カードサイズのコンパクトな送信機です。スタンダード型を置きにくい場所にも設置できます。



■信号入力型

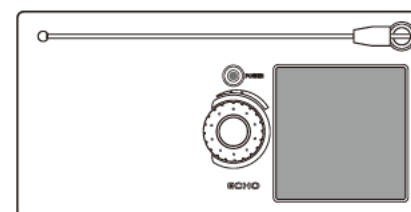
無人運転機器にトラブルが発生した場合に、信号を受信表示機へ自動送信。管理者が操作しなくてもトラブル発生を知らせます。



受信スピーカー&中継機(リピーター)

■受信スピーカー

受信表示機から離れた場所でもチャイム音を確認できます。



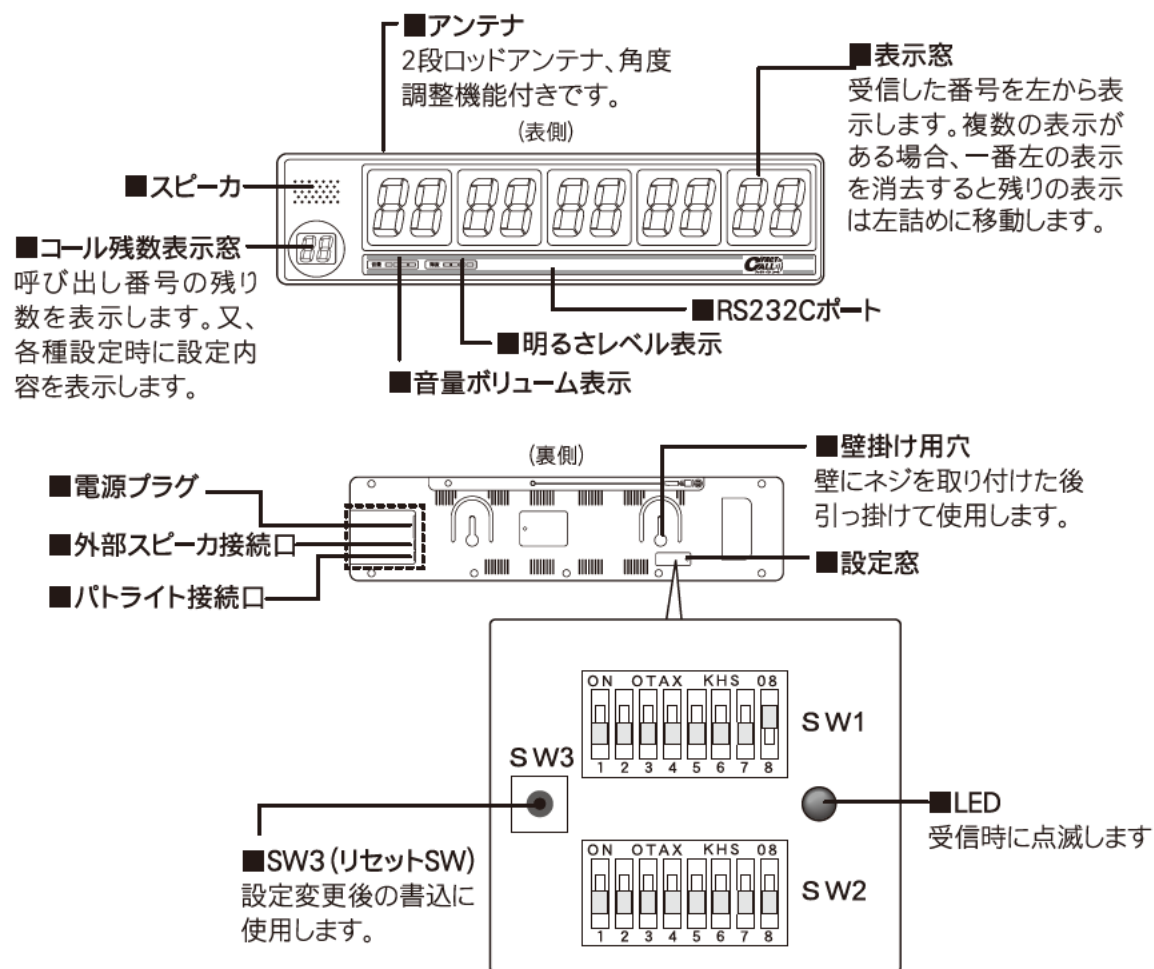
■中継機(リピーター)

入り組んだ場所など、電波が届きにくい場所で使用します。複数台設置可。



受信表示機

各部の名称/機能



設置場所

重要

電波を受信する受信表示機・携帯受信表示機・受信スピーカー・中継機(リピーター)は、周囲のノイズ(妨害電波)に影響を受けた場合、送信機・消去機・携帯受信表示機からの信号を的確に受信できず正常に作動しない場合があります。受信表示機・受信スピーカー・中継機(リピーター)は、ノイズ(妨害電波)を発生させやすい機器から2メートル以上離して設置するようにしてください。また、壁面に設置する場合は、その壁の裏側にもご注意ください。他に、電波やノイズを発生させやすい機器がある場合は、事前にご相談ください。

◎ノイズ(妨害電波)を発生させやすい機器の例
空調機・室外機 / 冷蔵庫 / 冷蔵ケース・室外機 / 通信関連の中継機(OES・携帯電話・無線LAN) / その他消費電力(W数)の多い電気器具のオン・オフ時等

⚠注意 火災や感電の恐れがあるため、周囲の温度が40℃を超える場所や、湿度が高い場所、水がかかる場所には設置しないでください。

((ワンポイント))

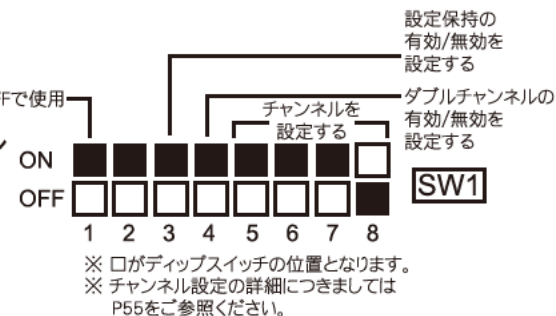
- 金属類に近い場所に設置すると電波の到達距離が短くなることがあります。金属面や他の電気機器などからなるべく離して設置してください。
- 固い床の上などに落とすと故障する場合があります。なるべく落下しにくい場所へ設置してください。

チャンネル設定

チャンネルは15(1~15)の中から自由に設定/変更することができます。設定はディップスイッチにて行います。受信表示機にはディップスイッチがあります。チャンネルの設定にはディップスイッチを使います。設定の際にはスイッチを間違えないようご注意ください。

※通常、チャンネルを変更する必要はありません。受信表示機のチャンネルを変更した場合は他の機器全てのチャンネルも変更する必要があります。詳しくは販売店へお問い合わせください。

- 1 電源をONにしてください。
- 2 設定窓を開けます。
- 3 SW1でチャンネルを設定します。
- 4 チャンネルは工場出荷時には1チャンネルに設定されています。必要に応じてチャンネルを変更してください。
- 5 設定終了後、ディップスイッチ左横のリセットSWを押して設定変更の書込を行ってください。



((ワンポイント))

電源投入時及びリセット時に5窓全てに“—”を表示。続いてソフト番号、チャンネル番号を表示します。(内蔵バッテリーに残量が有る時間内には表示が出ない場合があります)
※ソフト番号は通常のご使用時には特に意識して頂く必要はありません。

●停電時のバックアップ機能

バックアップ機能を搭載。0.1秒程度の瞬間停電はもちろん、数秒間程度の停電にも対応。コールをしっかり記録し、復旧後に呼び出し番号を表示します。

●リセットSW

初期設定に戻ります。(音量(2段階)、明るさ(最大)、音色(ピンポン)) 但し、設定が保持されている場合、初期設定に戻りません。また、設定変更時に使用します。

●設定の保持機能

長時間電源を切る場合などの時、設定機で設定した音色、音量、明るさが初期設定に戻らない様設定を保持します。

※この場合、保持機能が優先されますので、リセットボタンを押しても初期設定に戻りません。設定機以外で設定を初期化する時は保持機能を解除してください。

●ダブルチャンネル

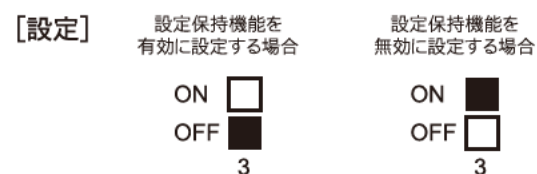
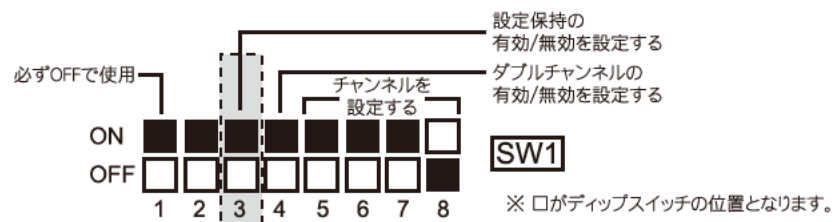
ダブルチャンネルとは、特定の2つのch(チャンネル)を受信できる機能です。チャンネル1~5を設定した場合において、対応した11~15のチャンネルも受信できます。

[例] 1ch+11ch, 2ch+12ch, 3ch+13ch, 4ch+14ch, 5ch+15ch

設定保持機能の有効/無効

長時間電源を切る場合などの時、設定機で設定した音色、音量、明るさが初期設定に戻らない様設定を保持します。

※この場合、保持機能が優先されますので、リセットSWを押しても初期設定に戻りません。消去&設定機以外で設定を初期化する時は保持機能を解除してください。

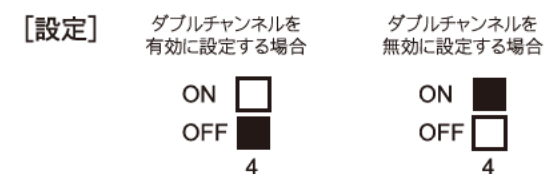
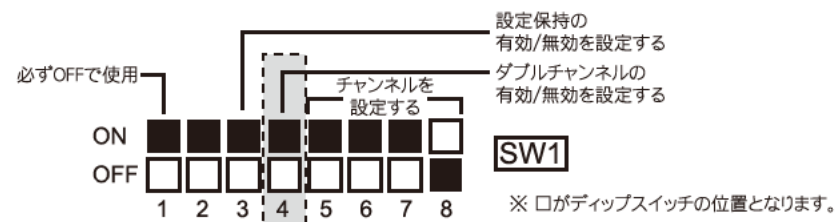


※ 変更した設定を有効にするために、必ず電源はONの状態のリセットSWを押してください。

ダブルチャンネルの有効/無効

ダブルチャンネルとは、特定の2つのch (チャンネル) を受信できる機能です。チャンネル1~5を設定した場合において、対応した11~15のチャンネルも受信できます。

[例] 1ch+11ch, 2ch+12ch, 3ch+13ch, 4ch+14ch, 5ch+15ch



※ 変更した設定を有効にするために、必ず電源はONの状態のリセットSWを押してください。

電波強度表示の有効/無効

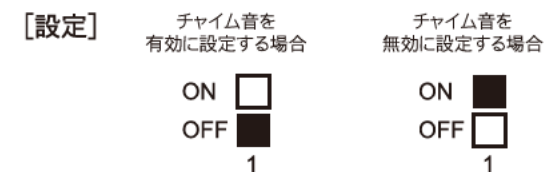
受信表示機が送信機、消去設定機、携帯受信表示機、中継機から送信される電波の強さを調べる機能です。設置場所確定後は、必ずディップスイッチを無効に戻してください。



※ 変更した設定を有効にするために、必ず電源はONの状態でのリセットSWを押してください。

チャイム音の有効/無効

表示中同じ番号を再度受信する時、チャイム音を出力する/しないを選択できます。



※ 変更した設定を有効にするために、必ず電源はONの状態でのリセットSWを押してください。

電波強度表示機能とは

受信表示機が送信機、消去設定機、中継機からの信号を受信すると、表示窓5 (右端) に受信した電波の強さを表示 (約5秒間) します。

最大値は60です。通信が正常に行える下限目安は25前後です。20以下の場合には信号データが受信不良となりやすく受信できない場合があります。電波強度を目安にすることで、受信表示機の設置場所を容易に決定できます。



表示窓1 (左端) に、送信機、消去機、携帯受信表示機の場合は、「0」を表示します。
中継機の場合は1~9またはA~F (10~15) の中継機番号を表示します。

音色設定

チャイム音を13種類の中から設定することができます。

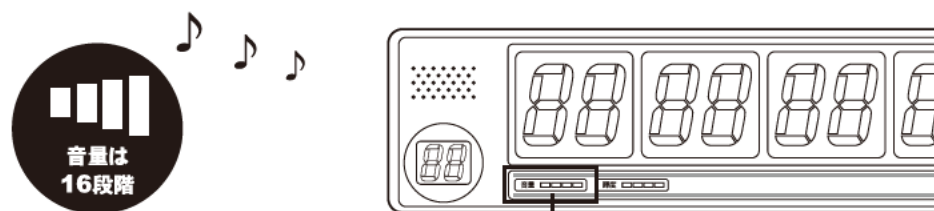
※設定は消去&設定機で行います。詳細につきましてはP40をご参照ください。



音量設定

呼び出しチャイム音の音量を16段階で設定することができます。

※設定は消去&設定機で行います。詳細につきましてはP38をご参照ください。



(((ワンポイント)))

音量設定表示について
4個のLEDで音量の設定状態を表示します。

音量	LED
1~4	1個点灯
5~8	2個点灯
9~12	3個点灯
13~16	4個点灯

明るさ設定

LEDの明るさを16段階で設定することができます。

※設定は消去&設定機で行います。詳細につきましてはP38,39をご参照ください。



(((ワンポイント)))

明るさ設定表示について
4個のLEDで明るさの設定状態を表示します。

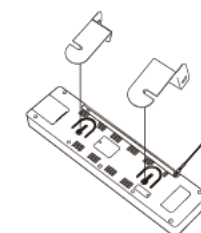
明るさ	LED
1~4	1個点灯
5~8	2個点灯
9~12	3個点灯
13~16	4個点灯

設置方法 (オプション)

◆天井吊り下げの場合

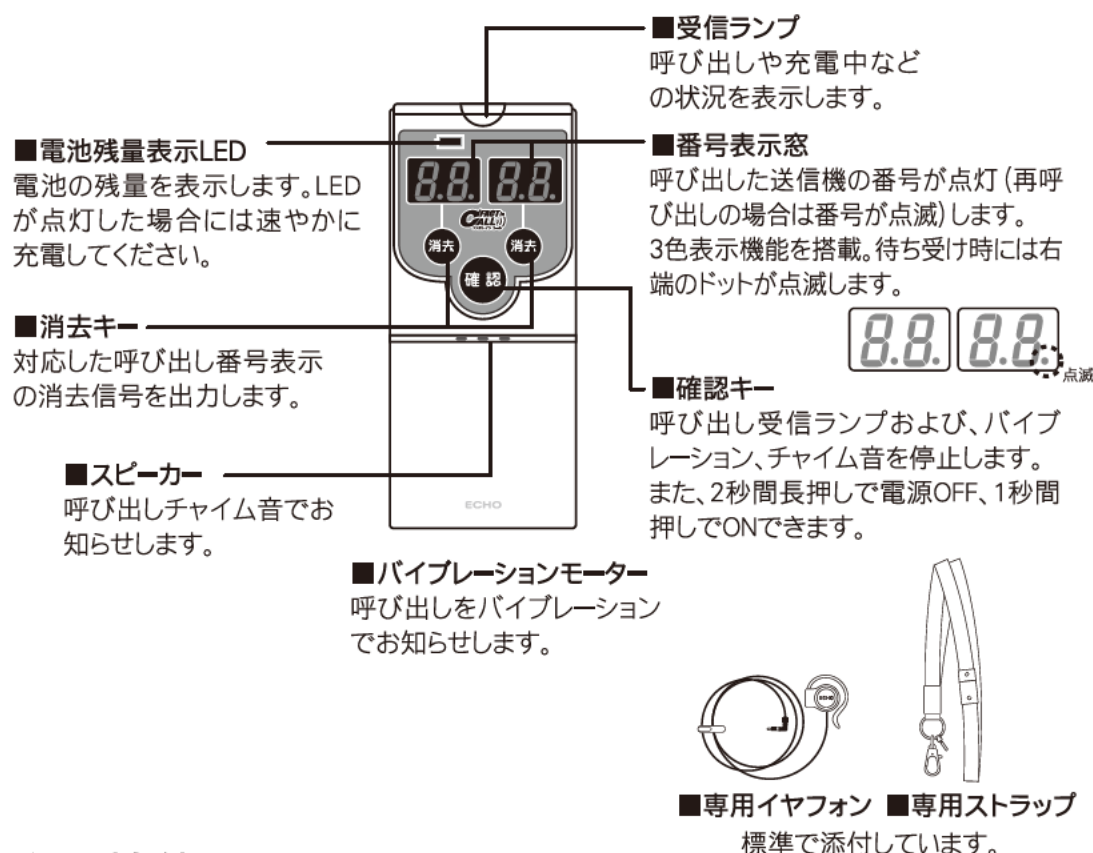
専用の取付金具をご用意 (オプション) しています。
図のように金具を取り付けて使用してください。

・受信表示機本体の重量は約1.5kgです。吊り下げても問題がないことを十分に確認してから作業を行ってください。



携帯受信表示機

各部の名称



主な機能

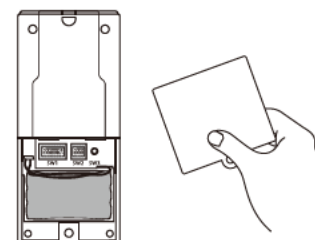
- 呼び出しを受信すると番号表示と同時に受信ランプが点滅。呼び出しをわかりやすくお知らせします。また、番号表示中、同じ番号の呼び出しを再度受信すると、番号表示が点灯から点滅に変わります。
- 呼び出しは受信ランプ・バイブレーション(振動)・チャイム音でお知らせできます。
- 使いやすく見やすい2窓表示を実現。2か所からの呼び出しを表示します。それ以上の呼び出しがあった場合は本体内のメモリ(最大50)に記録し、消去された空窓に順次左詰めで表示します。
- 消去機能を搭載。他の表示機の呼び出し番号を消去できます。
- バッテリー低消費表示機能を搭載。より「長持ち」を可能にしています。
- 専用イヤフォンとストラップを標準装備。
- 専用イヤフォンを使用中は、本機からのチャイム音は出ません。
- 充電中は携帯受信表示機の受信ランプが緑色に点灯します。
- フル充電前に受信ランプがゆっくり点滅し、その後消灯します。(フル充電には約6~8時間必要です。)
- 携帯受信表示機のバッテリー残量が少なくなると、電池残量表示LEDが点灯します。その場合には速やかに充電してください。また電池残量が十分でないと誤作動する恐れがあります。
- 過充電防止機能を搭載しています。

チャンネル設定

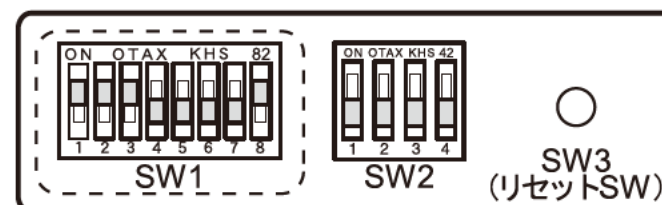
チャンネルは15(1~15)の中から自由に設定/変更することができます。設定はディップスイッチにて行います。携帯受信表示機にはディップスイッチがあります。チャンネルの設定にはディップスイッチを使います。設定の際にはスイッチを間違えないようご注意ください。

※通常、チャンネルを変更する必要はありません。携帯受信表示機のチャンネルを変更した場合は他の機器全てのチャンネルも変更する必要があります。詳しくは販売店へお問い合わせください。

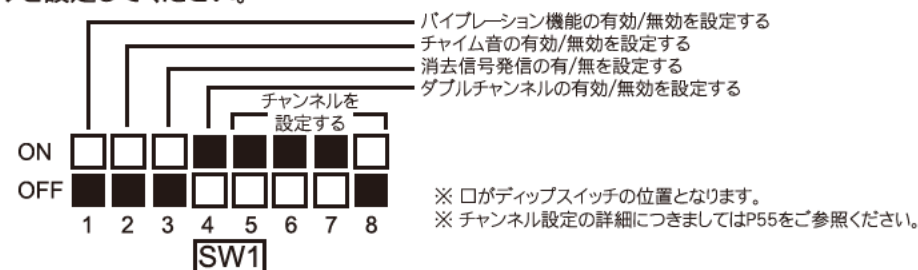
1 ピスを外して裏板を外します。



2 チャンネルは向かって左側のディップスイッチ(SW1)で設定します。



3 チャンネルは工場出荷時には1チャンネルに設定されています。必要に応じてチャンネルを設定してください。



4 希望するチャンネルにスイッチが設定されたことを確認し、設定用蓋を閉じます。

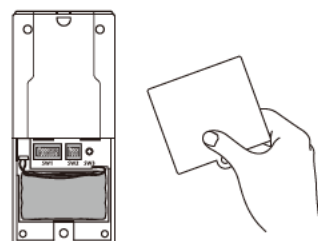
※ 変更した設定を有効にするために、必ず待受状態でリセットSWを押してください。

⚠ 注意 ピスはあまり強く締めないでください。ピスの頭がつぶれることがあります。又は、ケース本体が破損することがあります。

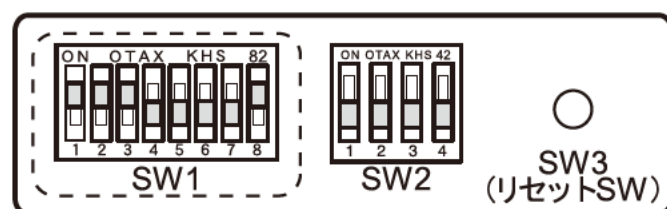
バイブレーション機能の有効/無効

携帯受信表示機のバイブレーション機能を有効/無効にする設定が行えます。設定はディップスイッチにて行ないます。設定の際にはスイッチを間違えないようにご注意ください。

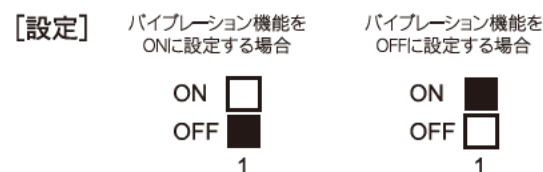
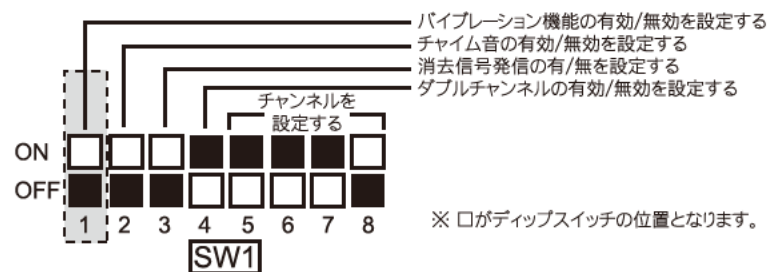
1 ビスを外して裏板を外します。



2 バイブレーション機能は向かって左側のディップスイッチ (SW1) で設定します。



3 バイブレーション機能は工場出荷時には有効に設定されています。必要に応じて設定してください。



4 希望する設定に変更されたことを確認し、裏板を閉じます。

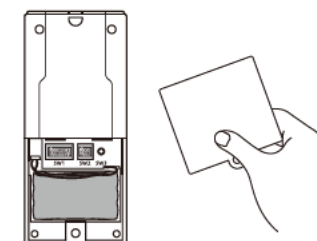
※ 変更した設定を有効にするために、必ず待受状態でリセットSWを押してください。

⚠ 注意 ビスはあまり強く締めないでください。ビスの頭がつぶれることがあります。又は、ケース本体が破損することがあります。

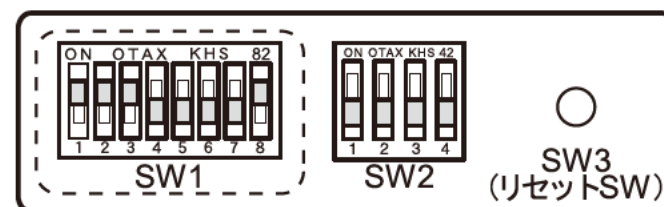
チャイム音設定の有効/無効

携帯受信表示機のチャイム音を有効/無効にする設定が行えます。設定はディップスイッチにて行ないます。設定の際にはスイッチを間違えないようにご注意ください。

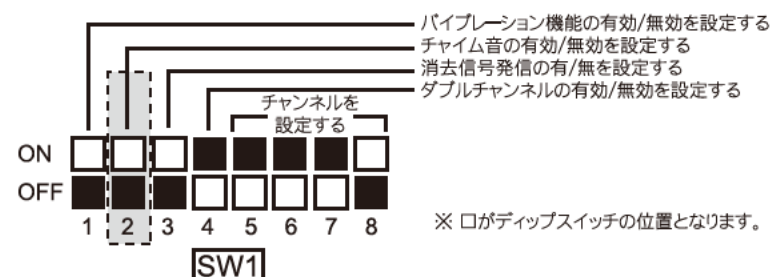
1 ビスを外して裏板を外します。



2 チャイム音設定は向かって左側のディップスイッチ (SW1) で設定します。



3 チャイム音設定は工場出荷時には有効に設定されています。必要に応じて設定してください。



4 希望する設定に変更されたことを確認し、裏板を閉じます。

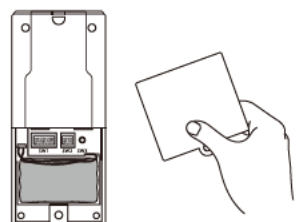
※ 変更した設定を有効にするために、必ず待受状態でリセットSWを押してください。

⚠ 注意 ビスはあまり強く締めないでください。ビスの頭がつぶれることがあります。又は、ケース本体が破損することがあります。

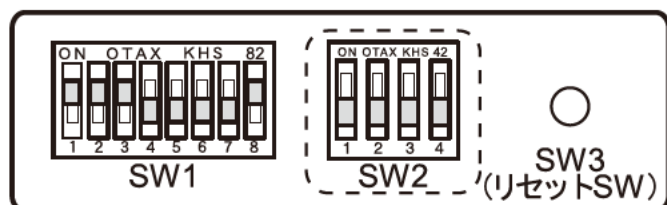
電波強度表示の有効/無効

携帯受信表示機で送信機、消去設定機、中継機から送信される電波の強さを調べる機能です。電波強度確認後は、必ずディップスイッチを無効に戻してください。

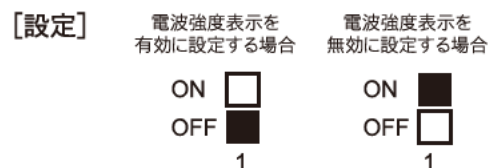
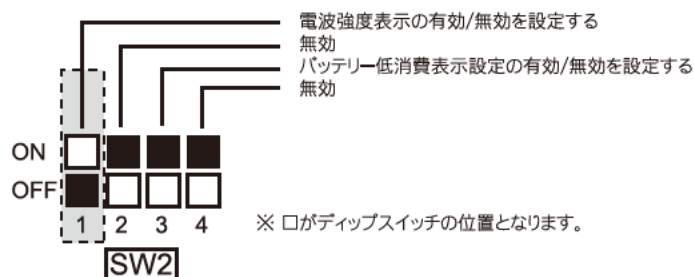
1 ビスを外して裏板を外します。



2 電波強度表示の有効/無効設定は向かって右側のディップスイッチ (SW2) で設定します。



3 電波強度表示の有効/無効設定は工場出荷時には無効に設定されています。電波強度を確認したい時だけ有効にしてください。(通常は無効で使用してください)



4 希望する設定に変更されたことを確認し、裏板を閉じます。

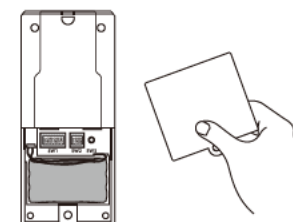
※ 変更した設定を有効にするために、必ず待受状態でリセットSWを押してください。

注意 ビスはあまり強く締めないでください。ビスの頭がつぶれることがあります。又は、ケース本体が破損することがあります。

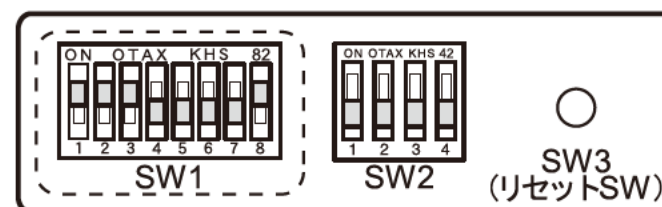
ダブルチャンネルの有効/無効

異なる2つのチャンネルを1台の携帯受信表示機で受信可能にする「ダブルチャンネル」の有効/無効を設定できます。

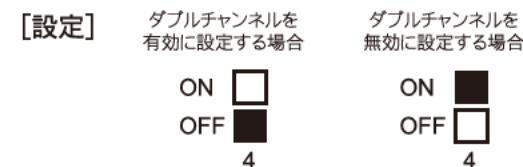
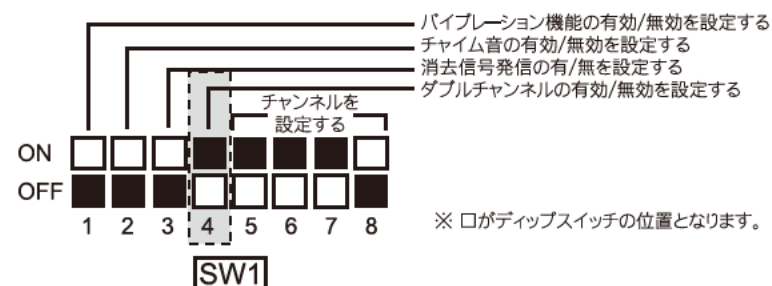
1 ビスを外して裏板を外します。



2 ダブルチャンネルの有効/無効は向かって左側のディップスイッチ (SW1) で設定します。



3 ダブルチャンネルの有効/無効設定は工場出荷時には無効に設定されています。必要に応じて設定してください。



4 希望する設定に変更されたことを確認し、裏板を閉じます。

※ 変更した設定を有効にするために、必ず待受状態でリセットSWを押してください。

((ワンポイント))

●ダブルチャンネルとは、特定の2つのch (チャンネル) を受信できる機能です。チャンネル1~5を設定した場合において、対応した11~15のチャンネルも受信できます。

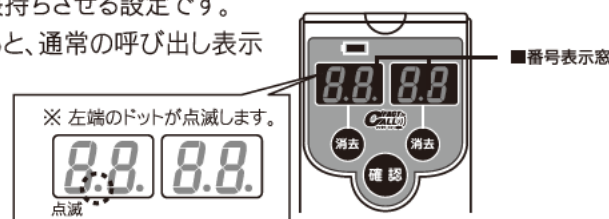
[例] 1ch+11ch、2ch+12ch、3ch+13ch、4ch+14ch、5ch+15ch

注意 ビスはあまり強く締めないでください。ビスの頭がつぶれることがあります。又は、ケース本体が破損することがあります。

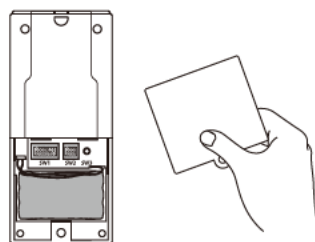
バッテリー低消費表示設定の有効/無効

呼び出しがある状態で操作や受信がない状態が10秒続くと番号表示窓の表示を消去し、ドットランプの点滅表示に切り替えることで、バッテリーを長持ちさせる設定です。

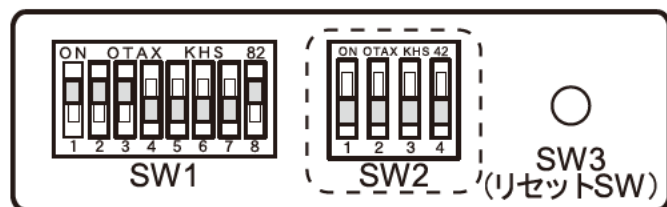
確認キーを押す、あるいは呼び出しを受信すると、通常の呼び出し表示に戻ります。



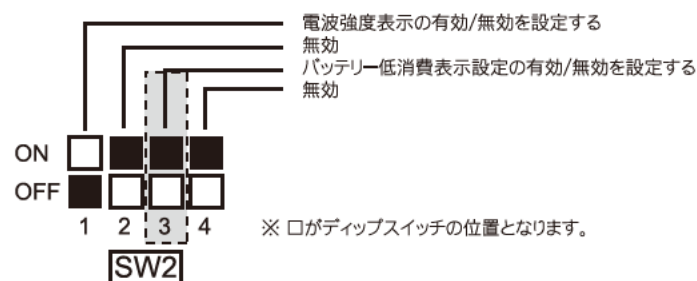
1 ビスを外して裏板を外します。



2 バッテリー低消費表示設定の有効/無効は向かって右側のディップスイッチ (SW2) で設定します。



3 バッテリー低消費表示設定の有効/無効は工場出荷時には無効に設定されています。必要に応じて設定してください。



[設定] バッテリー低消費表示機能を有効に設定する場合 バッテリー低消費表示機能を無効に設定する場合



4 希望する設定に変更されたことを確認し、裏板を閉じます。

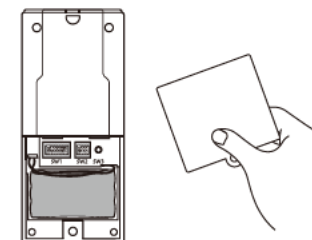
※ 変更した設定を有効にするために、必ず待受状態でリセットSWを押してください。

⚠ 注意 ビスはあまり強く締めないでください。ビスの頭がつぶれることがあります。又は、ケース本体が破損することがあります。

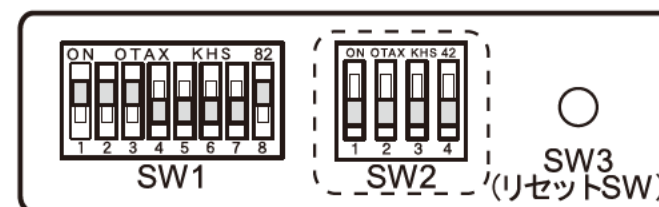
消去信号発信の有効/無効

番号を消去するための信号発信の有効/無効を設定します。有効に設定しておくことで他の携帯受信表示機や受信表示機の番号表示を消去できます。

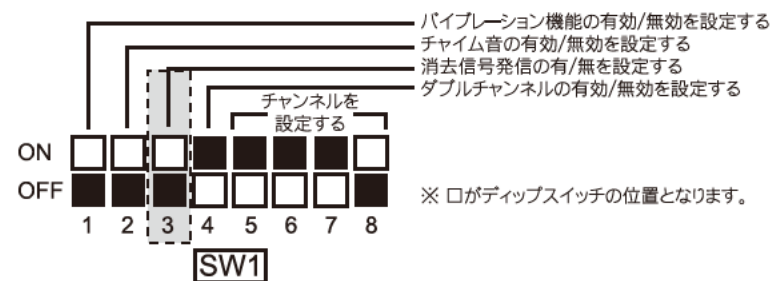
1 ビスを外して裏板を外します。



2 消去信号発信の有効/無効は向かって左側のディップスイッチ (SW1) で設定します。



3 消去信号の発信の有効/無効設定は工場出荷時には有効に設定されています。必要に応じて設定してください。



[設定] 消去信号発信を有効に設定する場合 消去信号発信を無効に設定する場合



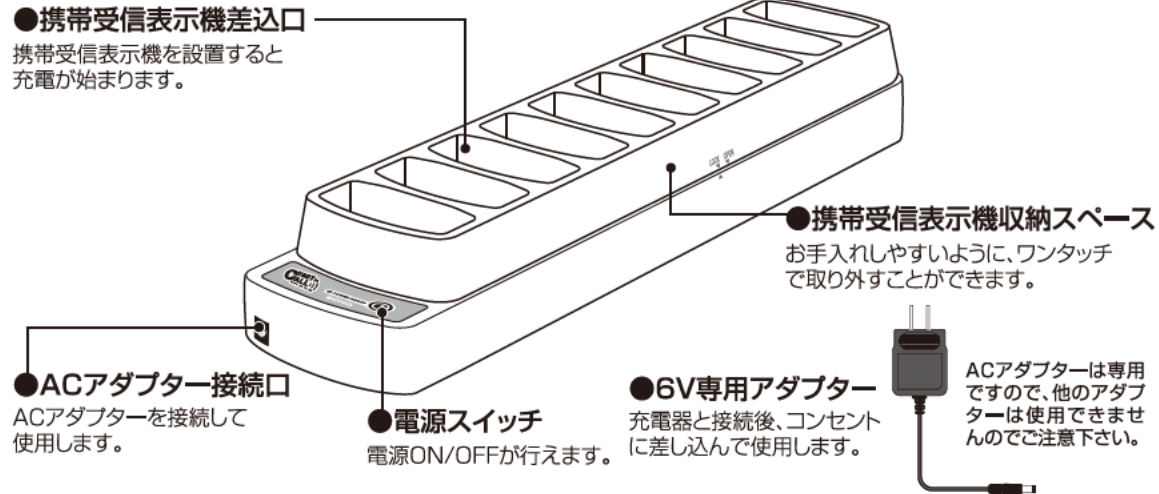
4 希望する設定に変更されたことを確認し、裏板を閉じます。

※ 変更した設定を有効にするために、必ず待受状態でリセットSWを押してください。

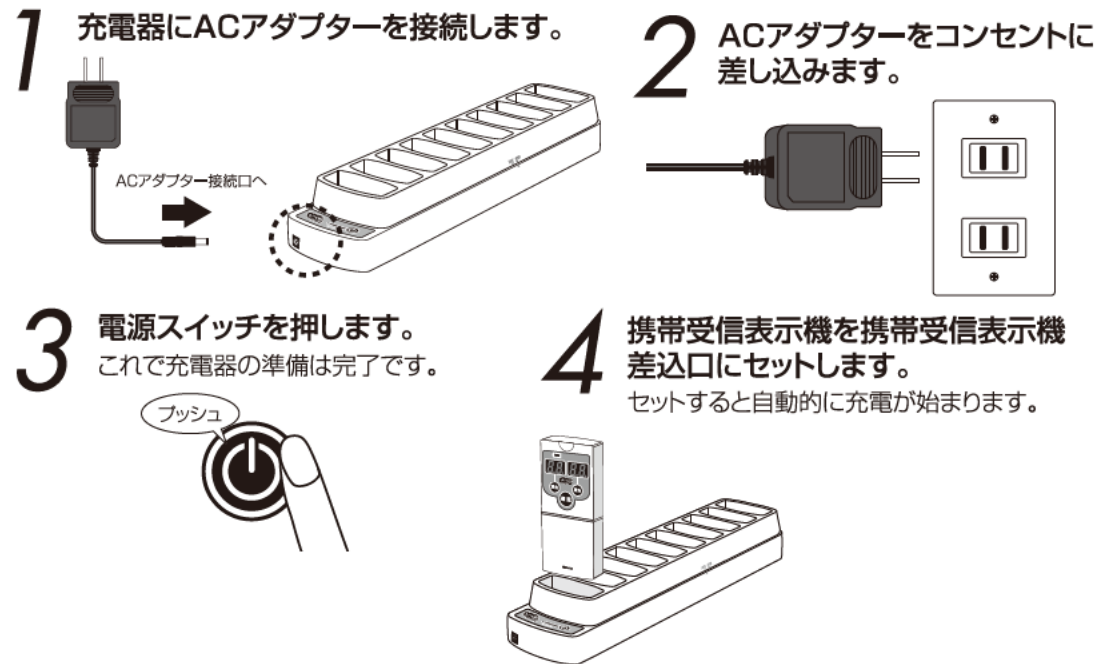
⚠ 注意 ビスはあまり強く締めないでください。ビスの頭がつぶれることがあります。又は、ケース本体が破損することがあります。

充電器

各部の名称

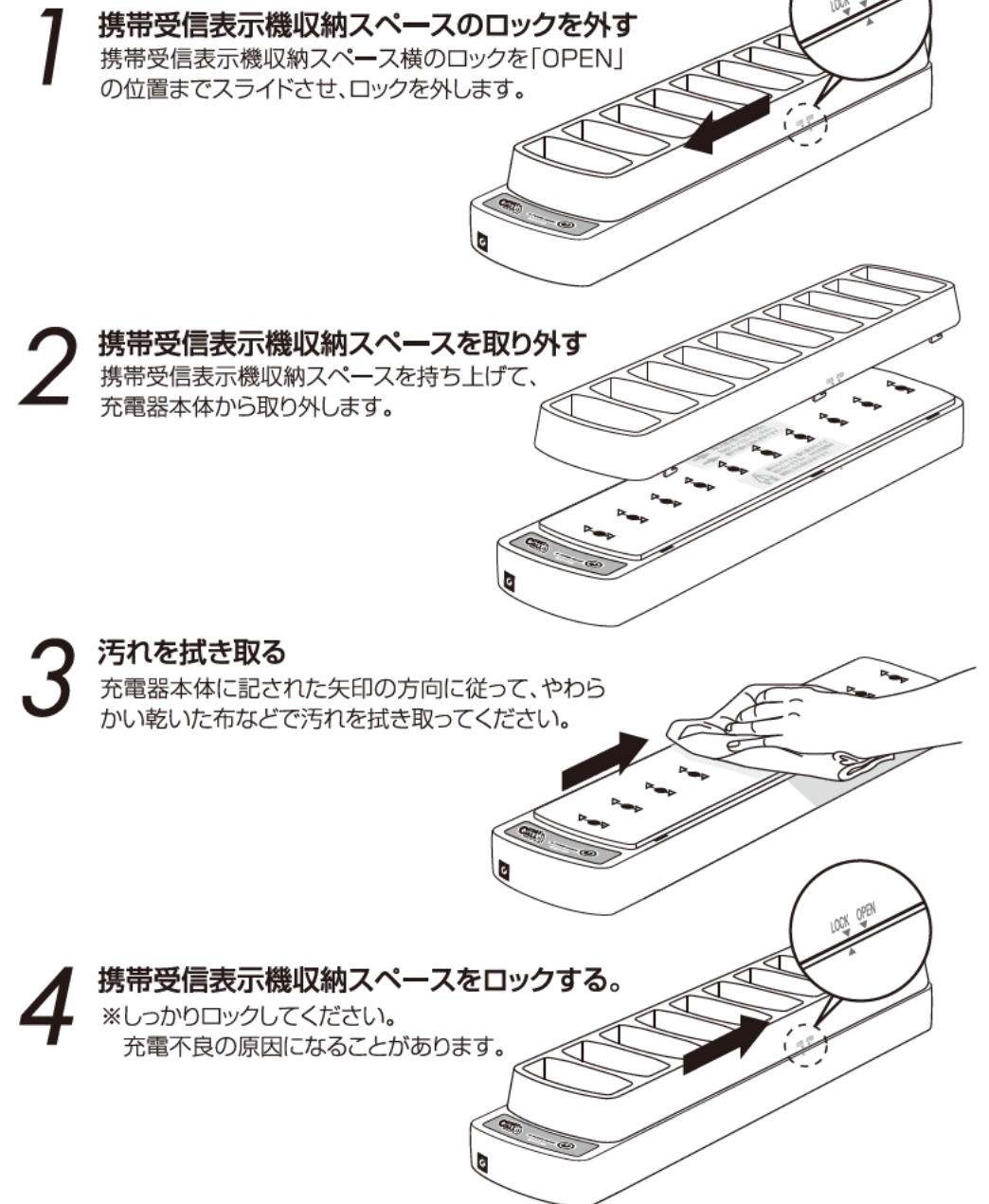


充電方法



充電器のお手入れ方法

携帯受信表示機収納スペースにホコリなどが溜まると、充電不良の原因になることがあります。お手数ではありますが定期的に清掃することをおすすめします。



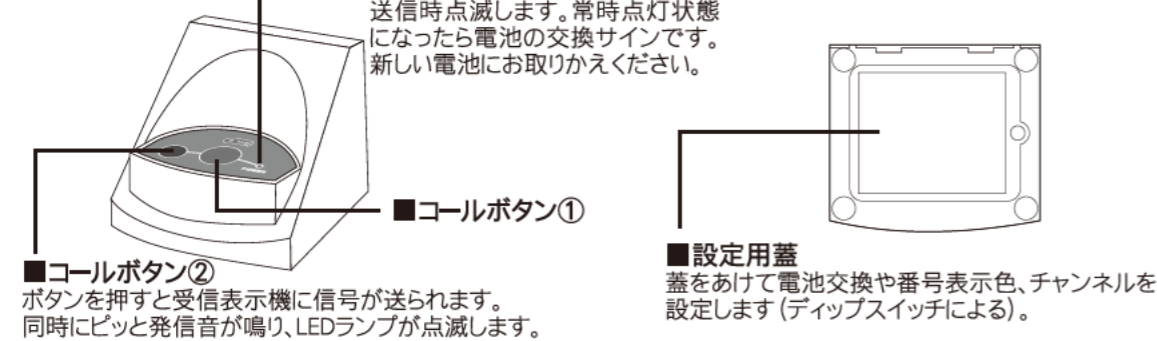
ご注意

- 必ず矢印の方向に従って拭き取りを行ってください。方向を間違えると充電端子を痛めることがあります。
- 濡れたタオルや濡れた雑巾などで拭かないでください。水分が故障の原因となる場合があります。

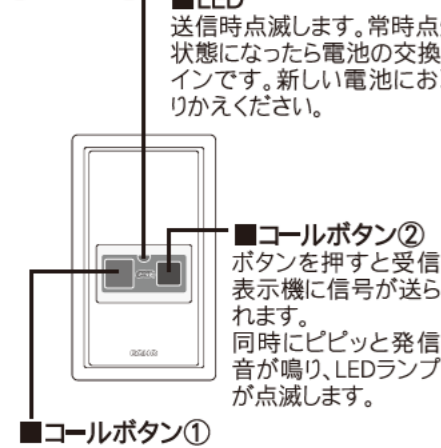
送信機

各部の名称/機能

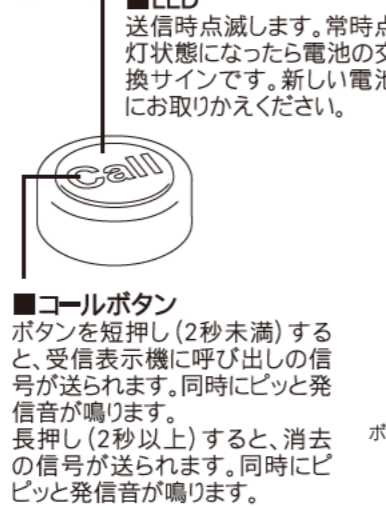
【スタンダード型】



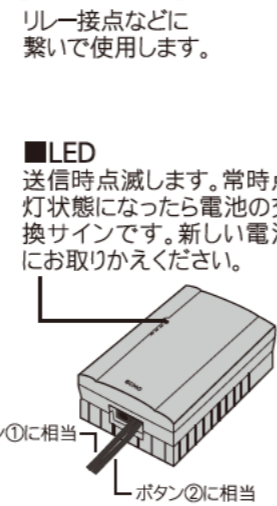
【カード型】



【丸型】

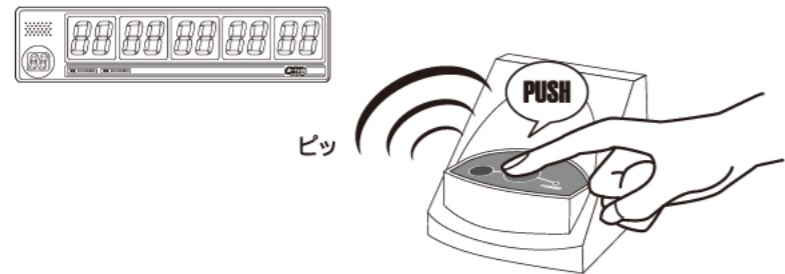


【信号入力型】

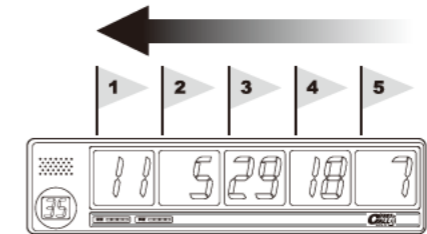


使用方法

- ・コールボタンを押すと受信表示機に信号が送られます。同時にピッと発信音が鳴ります。
- ※スタンダードでご説明しています。他の機種でも基本的に使用方法は同じです。



- ・受信表示機に、送信機に登録されている番号が表示されます。番号の大きい小さいに関わらず、左窓から順番に番号が表示されていきます。



重要 送信機には、日本の電波法上、発信間隔約2秒のタイムラグが設けてあります。

設置場所

注意 腐食や故障の原因となるため、周囲の温度が40℃を超える場所や、湿度が高い場所、水がかかる場所には設置しないでください。

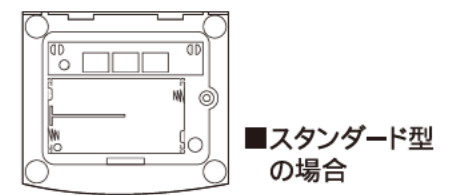
(((ワンポイント)))

- 金属類に近い場所に設置すると電波の到達距離が短くなることがあります。金属面や他の電気機器などからなるべく離して設置してください。
- 固い床の上などに落とすと故障する場合があります。なるべく落下しにくい場所へ設置してください。

電池交換方法

コールボタンを押しても受信表示機に番号が表示されない時や、ピッと発信音が鳴らない時、LEDランプが点滅しない時は、電池の寿命が考えられます。速やかに新しい電池に交換してください。

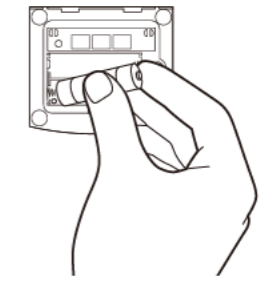
1 ピスを外して設定用蓋を開け、電池を取り外します。



2 新しい電池を入れます(極性を間違えないように注意してください)。

[使用する電池の種類と本数]

スタンダード型・丸型	単3アルカリ乾電池×2本
信号入力型	単3アルカリ乾電池×2本
カード型	SR44ボタン電池×2個



3 設定用蓋を閉じます。

(((ワンポイント)))

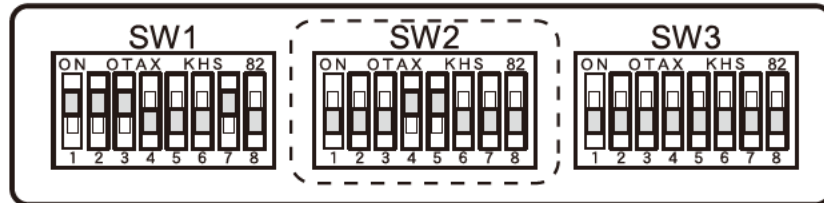
電池はアルカリ乾電池(カード型のみSR44ボタン電池)のご使用をおすすめしています。電池の寿命はおよそ1年です(使用環境によって異なります)。

チャンネルの設定(スタンダード型・丸型・信号入力型・カード型)

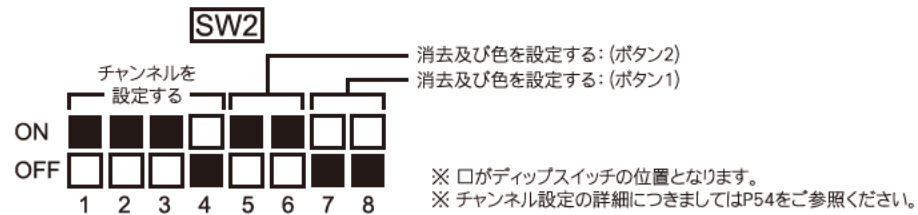
チャンネルは15(1~15)の中から自由に設定/変更することができます。設定はディップスイッチにて行います。
送信機には3個のディップスイッチがあります。チャンネルの設定には向かって中央のスイッチ(SW2)を使用します。設定の際にはスイッチを間違えないようご注意ください。

※通常、チャンネルを変更する必要はありません。送信機のチャンネルを変更した場合は他の機器全てのチャンネルも変更する必要があります。詳しくは販売店へお問い合わせください。

- 1 設定用蓋を開けます。
- 2 チャンネルは向かって中央のディップスイッチ(SW2)で設定します。



- 3 チャンネルは工場出荷時には1チャンネルに設定されています。必要に応じてチャンネルを変更してください。



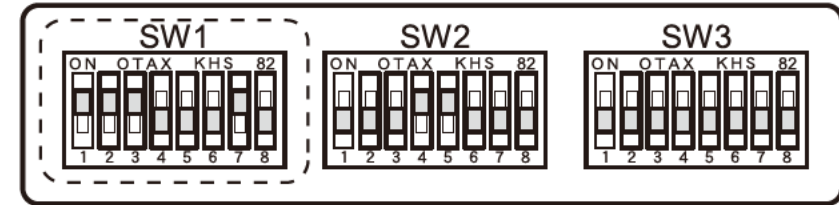
- 4 希望するチャンネルにスイッチが設定されたことを確認し、設定用蓋を閉じます。

⚠ 注意 ビスはあまり強く締めないでください。ビスの頭がつぶれることがあります。又は、ケース本体が破損することがあります。

番号の設定(スタンダード型・丸型・信号入力型・カード型)

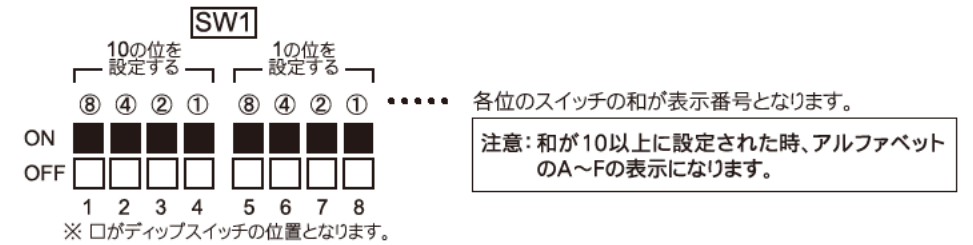
送信機の番号は1~FFの範囲で設定することができます。設定はディップスイッチにて行います。送信機には3個のディップスイッチがあります。番号の設定には向かって左側のスイッチ(SW1)を使用します。設定の際にはスイッチを間違えないようご注意ください。

- 1 設定用蓋を開けます。
- 2 番号は向かって左側のディップスイッチ(SW1)で設定します。



⚠ 注意 中央、右側のスイッチは動かさないでください。

- 3 必要に応じて番号を設定してください。



[設定例]

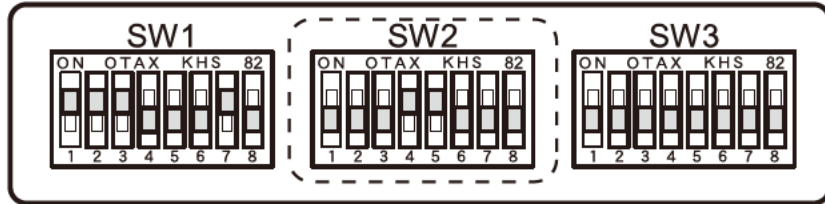


- 4 希望する番号にスイッチが設定されたことを確認し、設定用蓋を閉じます。

表示色の設定 (スタンダード型・丸型・信号入力型・カード型)

受信表示機に表示させる色 (赤・黄・緑) 及び消去の中から設定することができます。設定はディップスイッチにて行います。
送信機には3個のディップスイッチがあります。表示色設定には向かって中央のスイッチ (SW2) を使用します。設定の際にはスイッチを間違えないようご注意ください。

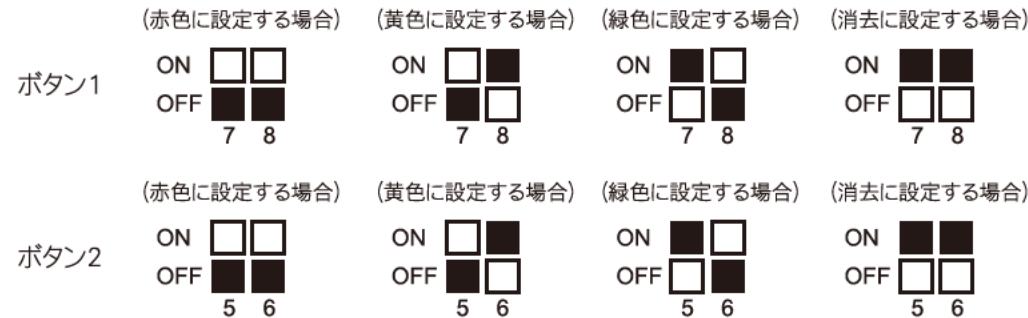
- 1 設定用蓋を開けます。
- 2 表示色設定は向かって中央のディップスイッチ (SW2) で設定します。



- 3 必要に応じて表示色を設定してください。(工場出荷時には赤色に設定されています。)



[ディップスイッチの設定]

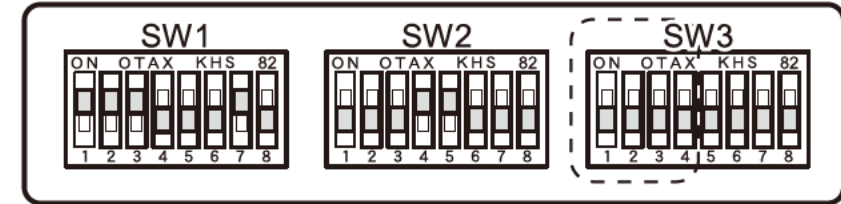


- 4 希望する表示色にスイッチが設定されたことを確認し、設定用蓋を閉じます。

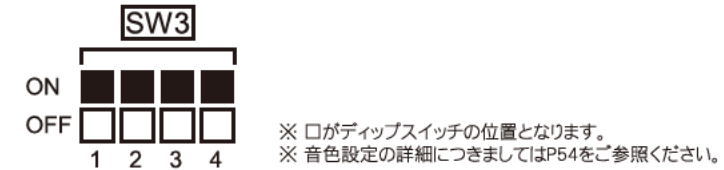
音色の設定 (スタンダード型・丸型・信号入力型・カード型)

受信表示機から出るチャイム音を13種類の中から個別に設定することができます。設定はディップスイッチにて行います。
送信機には3個のディップスイッチがあります。音色設定には向かって右側のスイッチ (SW3) を使用します。設定の際にはスイッチを間違えないようご注意ください。

- 1 設定用蓋を開けます。
- 2 音色設定は向かって右側のディップスイッチ (SW3) で設定します。



- 3 必要に応じて音色を設定してください。



(((ワンポイント)))

- 音色設定が未設定の場合、受信表示機側の設定音が鳴ります。送信機側の音色設定がある場合、送信機側の設定が優先されます。
- 消去設定機の音色ボタンを押すとチャイム音がロータリー式に出力されると同時に受信表示機のコール残数窓に音色番号が表示されます。お好みのチャイム音の音色番号を選んで設定してください。※チャイム音は受信表示機のスピーカーから出力されます。

- 4 希望する音色にスイッチが設定されたことを確認し、設定用蓋を閉じます。

消去 & 設定機

各部の名称/機能

■チェックボタン

受信表示機に表示された番号を消去する時に使用します。

■明るさ設定ボタン

LEDの明るさを16段階で設定できます。

■音量設定ボタン

呼び出しチャイム音の音量を16段階で設定できます。

■表示時間設定ボタン

呼び出し番号の自動消去時間を設定できます。

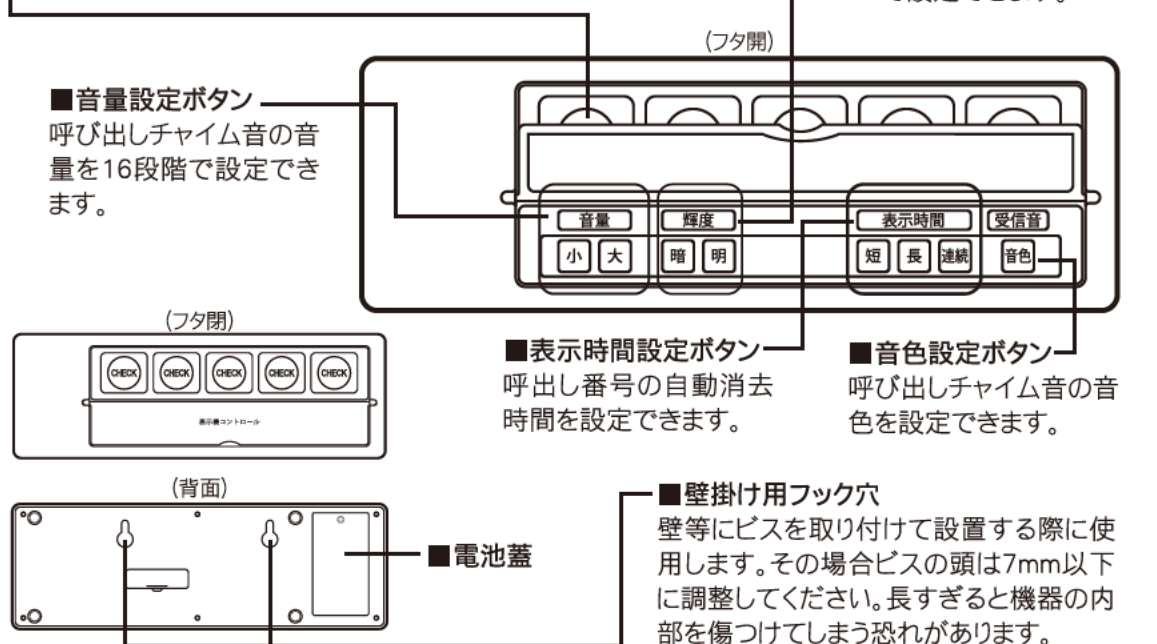
■音色設定ボタン

呼び出しチャイム音の音色を設定できます。

■壁掛け用フック穴

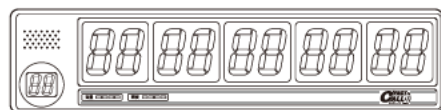
壁等にビスを取り付けて設置する際に使用します。その場合ビスの頭は7mm以下に調整してください。長すぎると機器の内部を傷つけてしまう恐れがあります。

■電池蓋

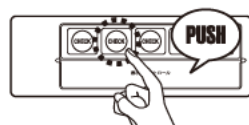
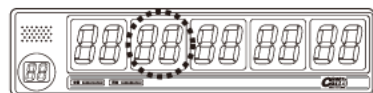


消去&設定機の使用法

●受信表示機の設定



●表示番号の消去



ボタン位置は受信表示機の表示窓位置と対応しています。

●左から2つ目の番号表示を消去したい時には、消去&設定機の左から2つ目のチェックボタンを押します。

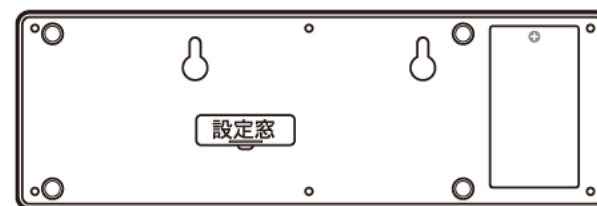
チャンネルの設定

チャンネルは15 (1~15) の中から自由に設定/変更することができます。設定はディップスイッチにて行います。

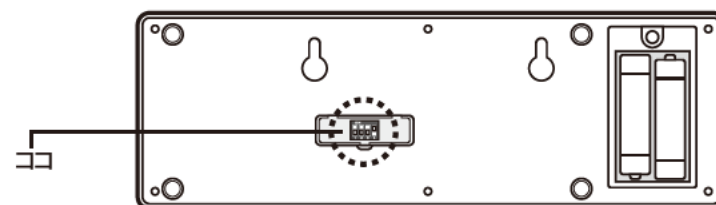
設定の際にはスイッチを間違えないようご注意ください。

※通常、チャンネルを変更する必要はありません。消去&設定機のチャンネルを変更した場合は他の機器全てのチャンネルも変更する必要があります。詳しくは販売店へお問い合わせください。

1 設定用蓋を開けます。



2 チャンネルはディップスイッチで設定します。



3 チャンネルは工場出荷時には1チャンネルに設定されています。必要に応じてチャンネルを変更してください。

※ チャンネル設定の詳細につきましてはP55をご参照ください。

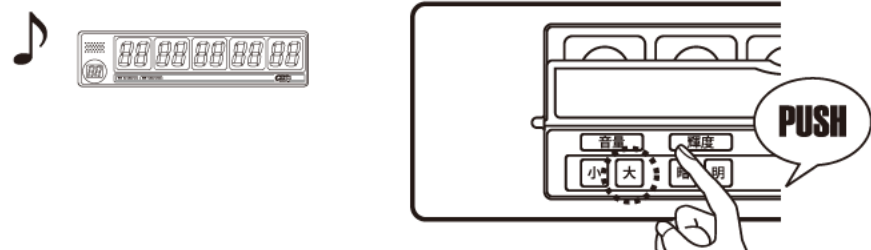
4 希望するチャンネルにスイッチが設定されたことを確認し、設定用蓋を閉じます。

音量設定

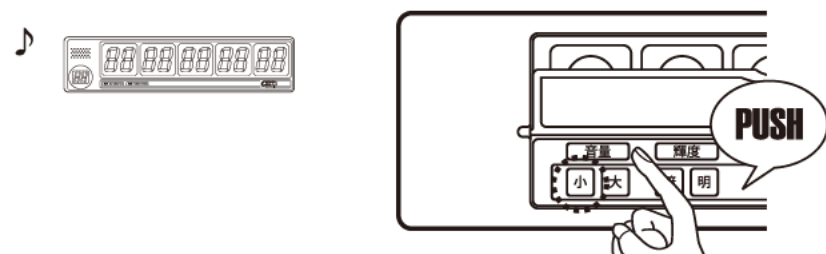
呼び出しチャイム音の音量を16段階で設定することができます。

※チャイム音は受信表示機のスピーカから出力されます。

- 工場出荷時の状態では音量は2に設定されています。
- 音量を大きくしたい時は、「大」ボタンを押します。ボタンを押した分だけ音量が大きくなります(音量16まで)。その都度、チャイム音と受信表示機に設定されている音色番号(1~13)がコール残数表示窓に表示されます。



- 音量を小さくしたい時は、「小」ボタンを押します。ボタンを押した分だけ音量が小さくなります(音量0まで)。その都度、チャイム音と受信表示機に設定されている音色番号(1~13)がコール残数表示窓に表示されます。

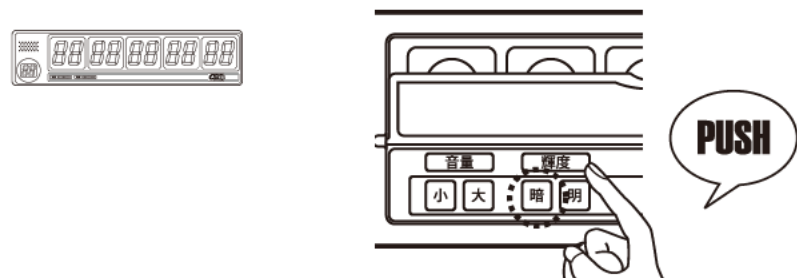


- 好みの音量に設定されたことを確認し、設定を終了します。

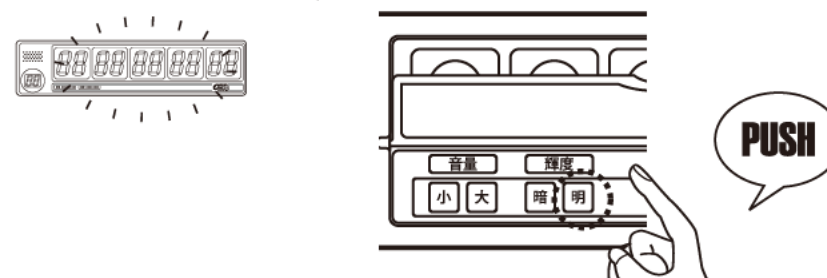
明るさ設定

受信表示機のLEDの明るさを16段階で設定できます。明るさや照明の状態に応じて設定してください。

- 工場出荷時の状態では明るさは(最大)に設定されています。
- LED表示を暗く設定したい時は、「暗」ボタンを押します。ボタンを押した分だけLED表示は暗くなります。



- LED表示を明るく設定したい時は、「明」ボタンを押します。ボタンを押した分だけLED表示は明るくなります。

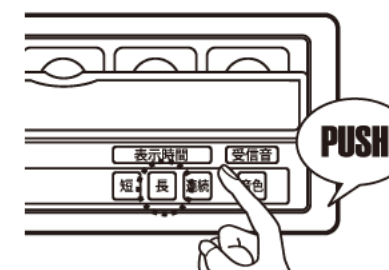
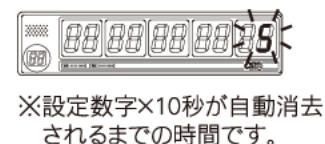


- 見やすい明るさに設定されたことを確認し、設定を終了します。

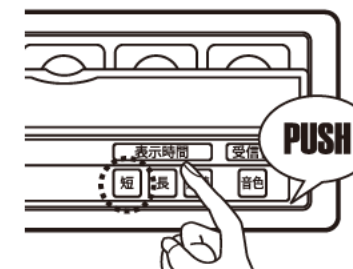
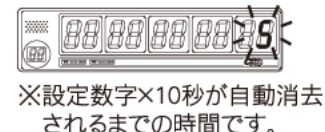
表示時間設定

呼び出し番号を自動で消去するまでの時間を設定できます。(約10秒間~最大990秒(表示は1~99)) 「連続」に設定すると、自動消去機能は設定されません(消去&設定機のチェックボタンで消去するまで番号が表示されます)。

- 工場出荷時の状態では、「連続」に設定されています。
- 表示されている時間を長く設定したい時は「長」ボタンを押します。ボタンを押した分だけ「+1」(約10秒)加算され、その都度表示窓5(右端)に約1秒間表示されます。お好みの自動消去時間に設定してください。



- 表示されている時間を短く設定したい時は「短」ボタンを押します。ボタンを押した分だけ“-1”(約10秒)加算され、その都度表示窓5(右端)に約1秒間表示されます。お好みの自動消去時間に設定してください。



※ロータリー切り替え式になっています。99を超えると1に戻り、連続“—”は経由しません。

- 「連続」ボタンを押すと、表示窓5(右端)に“—”の表示が約1秒間表示され、自動消去機能がキャンセルされます。番号表示を消去したい時は、チェックボタンを使用してください。

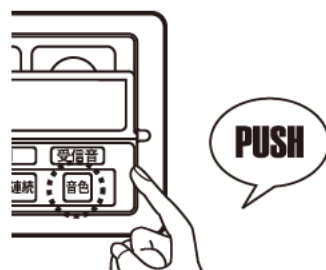
⚠ 注意

自動消去機能を設定した場合、番号表示が消去されてしまう可能性があります。トラブルを未然に防ぐためにも、通常は「連続」の状態でご使用になられることをおすすめします。

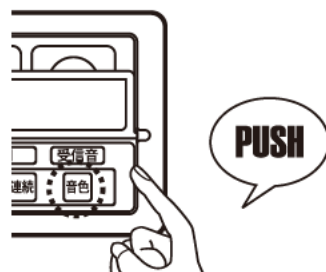
音色設定ボタン

呼び出しチャイム音の音色を13種類の音の中から設定できます。

- 1 「音色」ボタンを押します。チャイム音が出力されます。



- 2 もう一度「音色」ボタンを押すと別のチャイム音が出力されます。

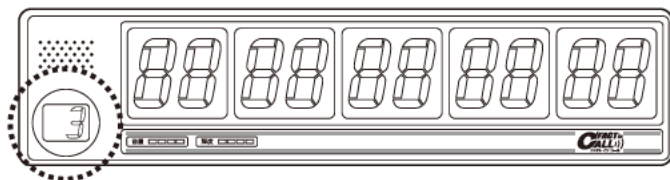


- 3 お好みの音色を13種類の音色の中からお選びください。

- 4 「音色」ボタンはロータリー切り替え式になっています。13種類のチャイム音を出力し終わると、最初に戻ってチャイム音を出力します。



受信機コール残数表示窓に音色ボタンを押すと1～13の数字が表示されます。



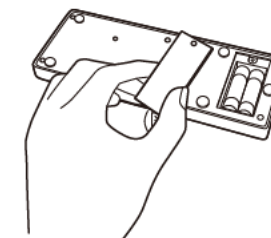
注意 送信機側の音色設定がある場合、送信機側の音色設定が優先されるため送信機側の音色設定音が出ます。

- 5 お好みのチャイム音が設定されたことを確認し、音色設定を終了します。

電池交換方法

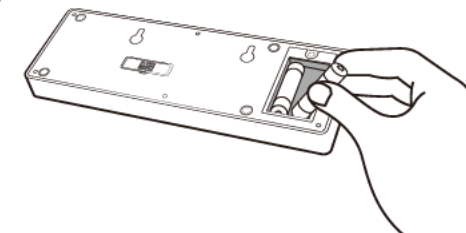
チェックボタンを押しても受信表示機の番号を消去できない時や、明るさ設定ボタンを押してもLEDの明るさが変化しないような場合には、電池の寿命が考えられます。速やかに新しい電池に交換してください。

- 1 ビスを外して電池蓋を開け、電池を取り外します。



- 2 新しい電池を入れます(極性を間違えないように注意してください)。

・消去&設定機には単3アルカリ乾電池×2本を使用します。



- 3 電池蓋を閉じます。

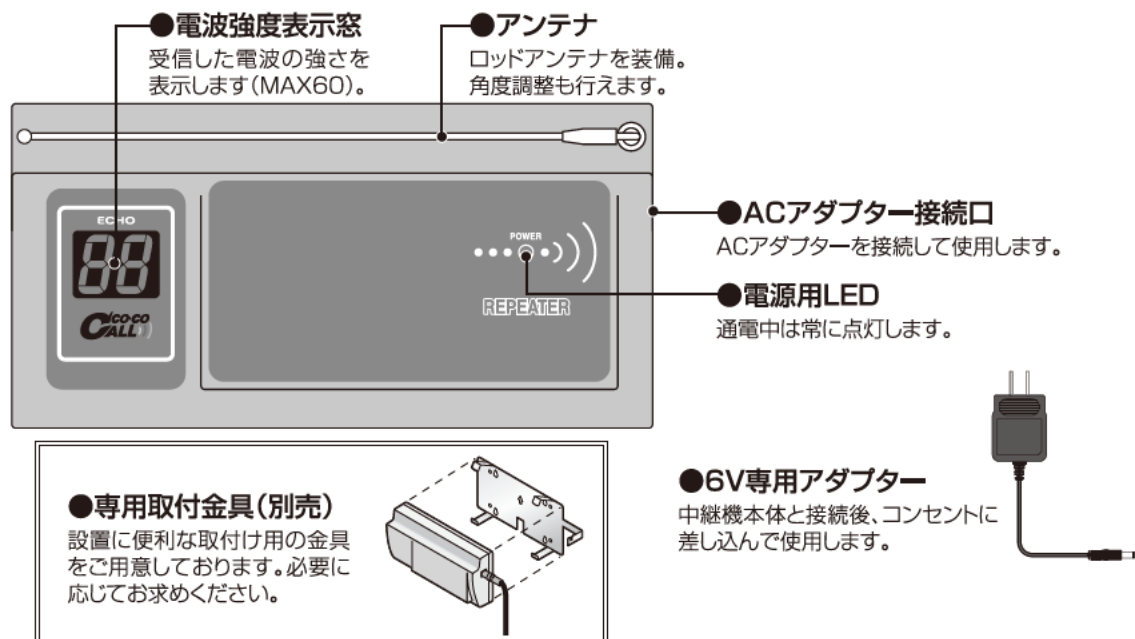
((((ワンポイント)))

電池はアルカリ乾電池のご使用をおすすめします。電池の寿命はおよそ1年です(使用環境によって異なります)。

注意 ビスはあまり強く締めないでください。ビスの頭がつぶれることがあります。又は、ケース本体が破損することがあります。

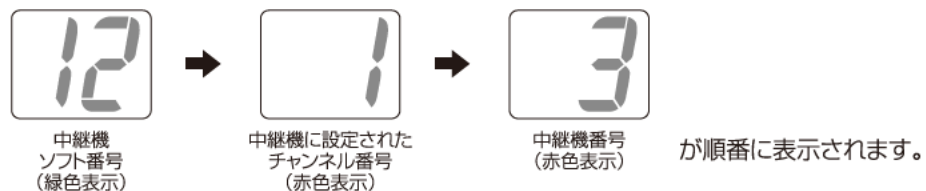
中継機 (リピーター)

各部の名称/機能



POINT

設定を変更しリセットボタンを押すと中継機の番号表示窓には



※中継機ソフト番号は、将来のソフト変更の際に確認用として使用するものです。通常のご使用時には特に意識していただく必要はありません。

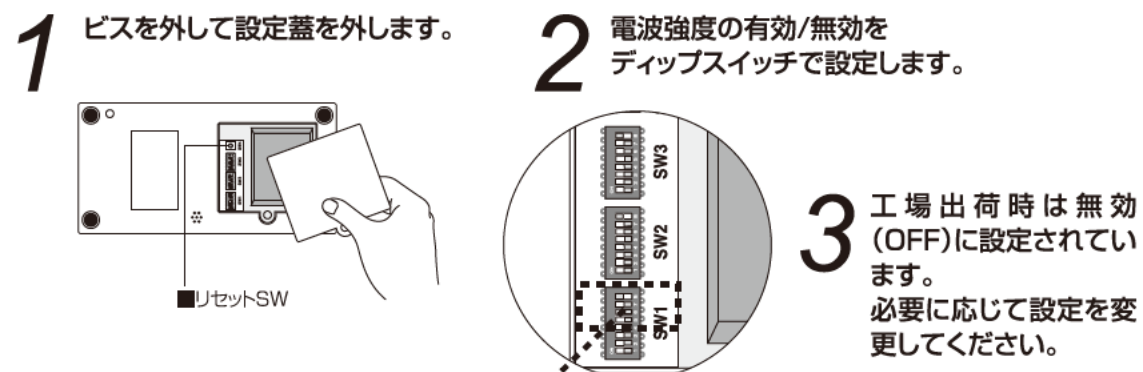
中継機の設置場所について

中継機の設置場所には電源が必要です。※設置場所を探す場合のみ乾電池をご利用ください。

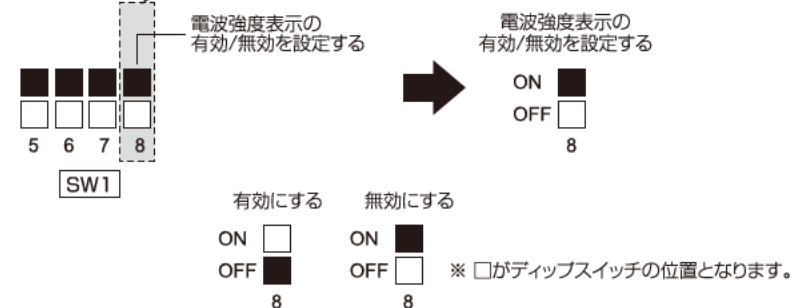
- 電波強度表示を「有効」に設定すると、常に電波強度数を表示します。
- 「電波強度数25以上」の場所を、設置場所としてください。
- 送信機から中継機・受信表示機への電波到達距離は、外部環境によって異なります。
- 中継機をご使用の前には、電波強度検査を十分に行ってください。
- 電波強度表示を「無効」にすると、受信時に約2秒間電波強度数を表示します。
- 通常のご使用時は必ずACアダプターを接続し、電源LEDが点灯していることをご確認ください。
- 高温、多湿、ほこりの影響を受けない場所に設置してください。
- 本製品は防水ではありません。単独での屋外設置は避けてください。(オプションで防水BOXをご用意しております。)

電波強度表示の有効/無効

電波強度表示を有効/無効にする設定が行えます。有効にすると最新の電波強度を常に表示します。無効にすると受信する度に2秒間電波強度を表示します。



電波強度表示の有効/無効設定



4 設定変更を確認後、リセットSWを押し設定蓋を閉じます。

電波強度表示について

中継機が信号を受信すると、表示窓に受信した電波の強さを表示します。最大値は60です。通信が行える下限目安は25前後です。20以下の場合、信号データが受信不良となりやすく中継を拒否します。

- 信号を受信すると左側の7セグLEDのドットが1回点滅します。
- 信号を中継送信するともう1回点滅します。

電波強度を目安にすることで中継機の設置場所を容易に決定できます。



POINT

有効での利用方法

中継機を設置する場合に、設置箇所の電波状況を確認する目安になります。設置箇所を決定した後は無効に戻してください。

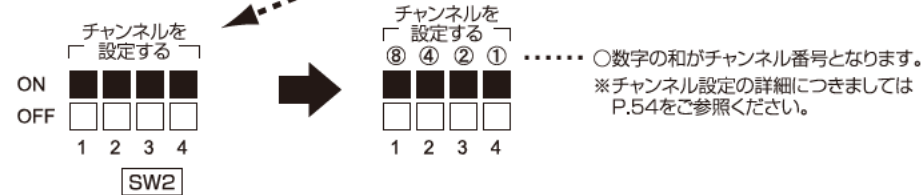
チャンネル番号の変更

中継機のチャンネルは15(1~15)チャンネルの中から自由に設定/変更することができます。チャンネル番号は、他の機器全てと同じに設定してください。

- 1 ビスを外して設定蓋を外します。
- 2 チャンネル番号をディップスイッチで設定します。
- 3 工場出荷時には1チャンネルに設定されています。必要に応じて設定を変更してください。0チャンネル設定は1チャンネルとして設定、表示されます。

チャンネル設定一覧

0チャンネル設定は1チャンネルとして表示・設定されます



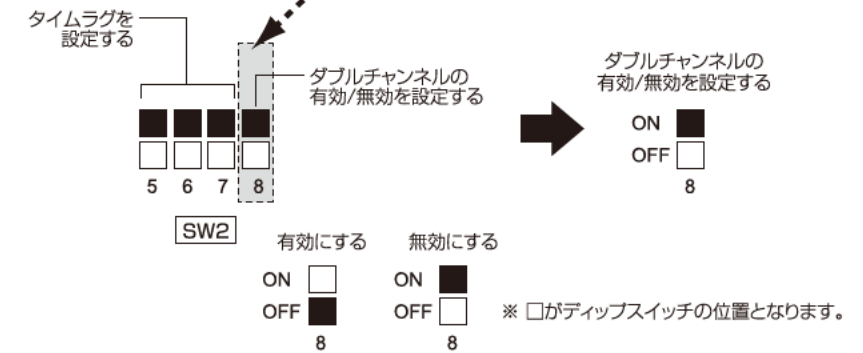
- 4 設定変更を確認後、リセットSWを押し設定蓋を閉じます。

ダブルチャンネルの有効/無効

異なる2つのチャンネルを1台の中継機で中継可能にする「ダブルチャンネル」の有効/無効を設定できます。ダブルチャンネルを利用できるチャンネルの組み合わせは、1-11、2-12、3-13、4-14、5-15です。ダブルチャンネルを利用すれば、中継機を兼用することができます。

- 1 ビスを外して設定蓋を外します。
- 2 ダブルチャンネルの有効/無効をディップスイッチで設定します。
- 3 工場出荷時は無効(OFF)に設定されています。必要に応じて設定を変更してください。

ダブルチャンネルの有効/無効設定



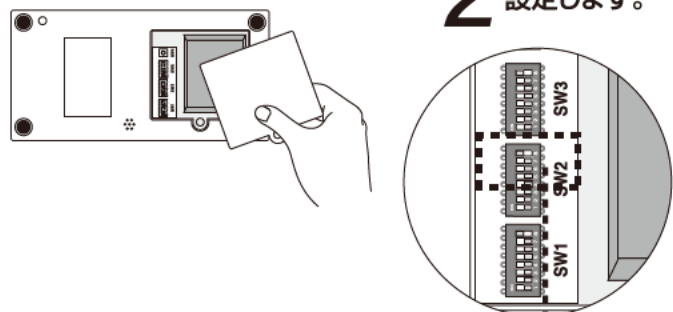
- 4 設定変更を確認後、リセットSWを押し設定蓋を閉じます。

タイムラグ設定

中継機を複数台使用する際、中継機同士の電波干渉を防ぐため送信時間にタイムラグを設けます。タイムラグは0~7まで設定できます。

※タイムラグとは中継機が受信してから送信するまでの時間の事をいいます。

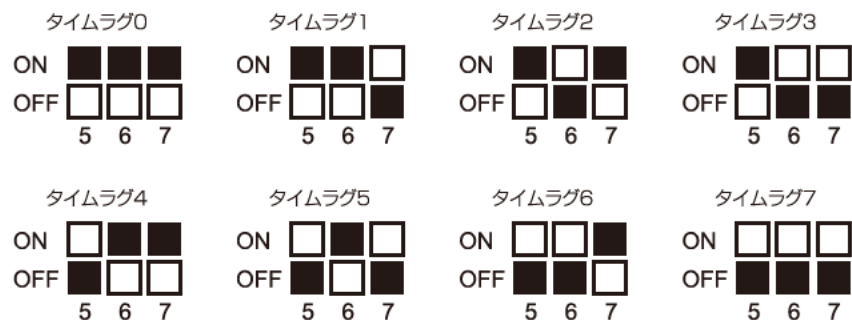
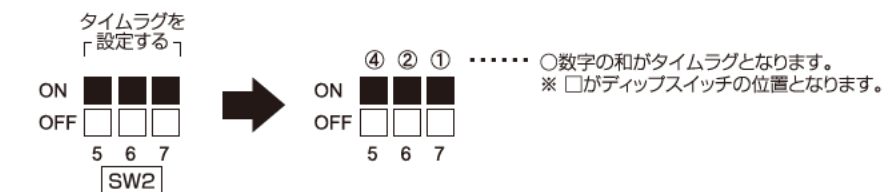
- 1 ビスを外して設定蓋を外します。
- 2 タイムラグをディップスイッチで設定します。



ご注意

2台以上の中継機に同じタイムラグを設定するとトラブルの原因となりますので、同じタイムラグを設定しないようご注意ください。

タイムラグ設定一覧



- 3 設定変更を確認後、リセットSWを押し設定蓋を閉じます。

特殊な使用方法。中継しない中継機の設定 (2台まで設定可能)

比較的近い距離で中継機を複数台設置しなければならない場合など、特殊なケースの時、中継機同士の電波干渉が発生し、受信機または中継機に電波が届かないことがあります。このことを予防するため、あらかじめ中継機が別の中継機からの電波を受けても送信しないようにする機能です。

中継機(リピーター)番号設定

中継機を複数台使用する際、同じ番号とならないよう中継機の番号を変更してください。中継機番号は1~15番まで設定できます。

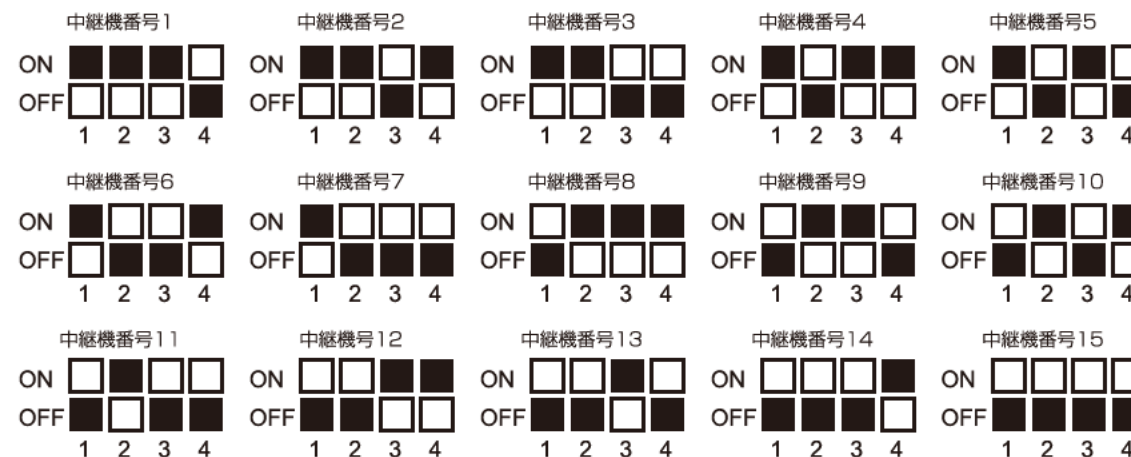
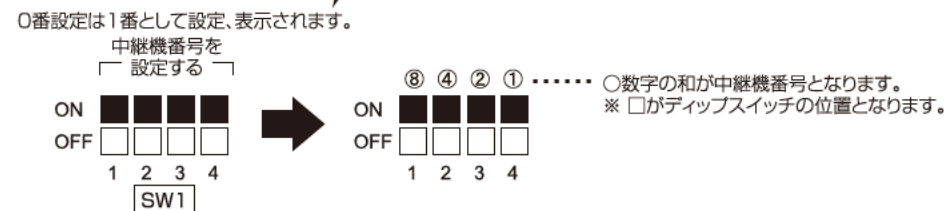
- 1 ビスを外して設定蓋を外します。
- 2 中継機(リピーター)番号をディップスイッチで設定します。



ご注意

2台以上の中継機に同じ番号を設定するとトラブルの原因となりますので、同じ番号を設定しないようご注意ください。

中継機(リピーター)番号設定一覧

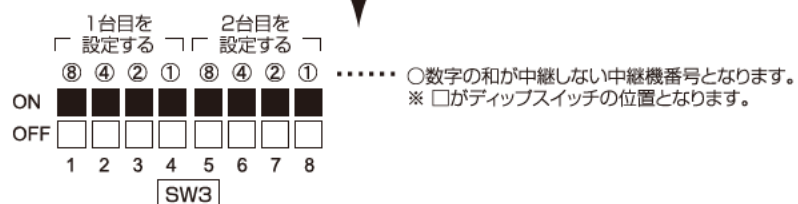


- 3 設定変更を確認後、リセットSWを押し設定蓋を閉じます。

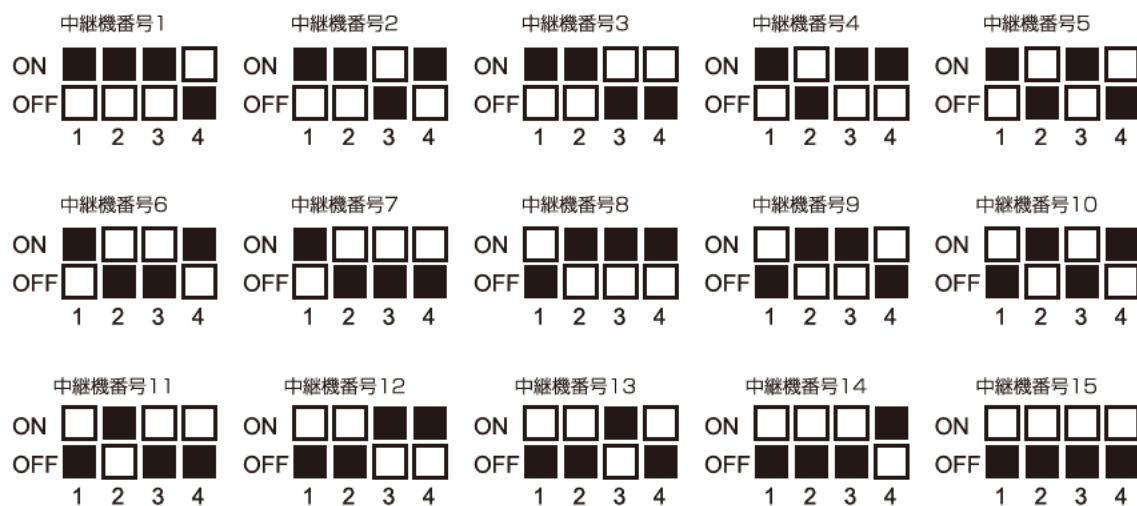
中継しない中継機(リピーター)番号設定

- 1 ビスを外して設定蓋を外します。
- 2 中継しない中継機(リピーター)番号をディップスイッチで設定します。
- 3 工場出荷時は無効(OFF)に設定されています。必要に応じて設定を変更してください。

中継しない中継機(リピーター)番号設定一覧



■SW3での設定例



2台目についても設定は同様です。

- 4 設定変更を確認後、リセットSWを押し設定蓋を閉じます。

お手入れ方法

⚠ 警告 感電の恐れがありますのでお手入れの前には電源プラグを抜いてください。

お手入れ

- 汚れが気になる場合には固く絞った柔らかい布で拭いてください。
- 汚れがひどい場合には、うすめた食器用中性洗剤を含ませた布で拭いたあと、固く絞った柔らかい布でよく拭いてください。
(特に冬場には静電気の影響でホコリが付きやすくなる場合があります)

⚠ 警告 火災や感電の恐れがありますので、製品や電源プラグ部に水や洗剤をかけないでください。

⚠ 注意 ベンジン、シンナー、クレンザー、ナイロンたわしなどの使用は、プラスチックを傷めますのでやめてください(プラスチックが割れてケガをする恐れがあります)

故障かな？と思ったら

送信機のコールボタンを押しても、受信表示機に何も表示されない。

- ➡受信表示機の電源プラグがコンセントに接続されているか確認してください。
- ➡チャンネル設定が正しく行われているか確認してください。
- ➡受信表示機のリセットSWを押してください。
- ➡送信機の電池を確認してください。

送信機のコールボタンを押していないのに、番号が表示される。

- ➡混線の可能性がありますので、別のチャンネルを設定してみてください。

Ⓔ問題が解決しない場合には販売店にご相談ください。

仕様

●受信表示機

型 式	F-100
サイズ(W×D×H)	550×55×130mm
重 量	約1,350g(コード含む)
電 源	AC100V
消費電力	約15W
受信周波数	426,025MHz~(特定小電力)
受信方式	単信方式
受信距離	約100m(使用環境により変わります)
表示方式	2桁5窓 着信順3色表示 設定番号及びコール残数表示
チャイム音	13種類ロータリー設定
音量調節	16段階
スピーカー出力	300mW
LED輝度調節	16段階
チャンネル	1~15チャンネル
使用温度	0℃~40℃

●携帯受信表示機

型 式	F-200
サイズ(W×D×H)	51×129×21mm
重 量	約100g(電池/バック含む)
電 源	リチウムイオンポリマー充電電池
送信周波数	426,025MHz~(特定小電力)
送受信方式	単信方式
送信出力(消去時)	1mW
送信時動作	5kHzの電子音(ピッ)
表示方式	2桁2窓 着信順3色表示
メモリ記憶数	50件
充電時間	約6~8時間
待受時間	約30時間(使用環境により変わります)
チャンネル	1~15チャンネル
使用温度	0℃~40℃

●充電器

型 式	F-705(5台タイプ)	F-710(10台タイプ)
サイズ(W×D×H)	79×165×54mm	79×290×54mm
重 量	約400g	約550g
電 源	DC6V専用アダプター	DC6V専用アダプター
充電方式	接点充電	接点充電
セパレーター式	収納部セパレーター方式(掃除可能)	収納部セパレーター方式(掃除可能)
消費電力	約12W(ピーク時)	約24W(ピーク時)

仕様

●消去&設定機

型 式	F-400
サイズ(W×D×H)	245×80×25mm
重 量	約230g(単三アルカリ乾電池×2本含む)
電 源	単三アルカリ電池×2本
送信周波数	426.025MHz～(特定小電力)
送信方式	単信方式
送信出力	1mW
送信時動作	5kHzの電子音(ピッ)
設 定	音量・表示輝度・自動消去時間・音色
チャンネル	1～15チャンネル
使用温度	0℃～40℃

●送信機(スタンダード型・丸型)

型 式	F-301(スタンダード型)	F-305(丸型)
サイズ(W×D×H)	85×78×71mm	80×80×43mm
重 量	約150g(単三アルカリ電池×2本含む)	約130g(単三アルカリ電池×2本含む)
電 源	単三アルカリ電池×2本	
送信周波数	426.025MHz～(特定小電力)	
送信方式	単信方式	
送信出力	1mW	
チャイム音設定	ディップスイッチにて13種類	
送信時動作	5kHzの電子音(ピッ)	
番号設定	1～FF	
表示色設定	3色	
チャンネル	1～15チャンネル	
使用温度	0℃～40℃	

●送信機(カード型)

型 式	F-302
サイズ(W×D×H)	55×93×11mm(ホルダー装着時は60×98×15mm)
重 量	約35g(アルカリボタン電池×2個含む。ホルダー装着時は約55g)
電 源	SR44ボタン電池×2個
送信周波数	426.025MHz～(特定小電力)
送信方式	単信方式
送信出力	1mW
チャイム音設定	ディップスイッチにて13種類
送信時動作	5kHzの電子音(ピピッ)
番号設定	1～FF
表示色設定	3色
チャンネル	1～15チャンネル
使用温度	0℃～40℃

仕様

●送信機(信号入力型)

型 式	F-304(無電圧接点タイプ)	F-306(電圧入力タイプ)	F-306W(電圧入力タイプ)
入力電圧	—	DC5～24V	DC5～24V
サイズ(W×D×H)	75×36.9×116mm(ホルダー装着時は75.42×42.1×116.42mm)		
重 量	約165g(単三アルカリ電池×2本含む。ホルダー装着時は約190g)		
電 源	単三アルカリ電池×2本/DC3.3V専用アダプター(別売)		
送信周波数	426.025MHz～(特定小電力)		
送信方式	単信方式		
送信出力	1mW		
チャイム音設定	ディップスイッチにて13種類		
送信時動作	5kHzの電子音(ピッ)		
番号設定	1～FF		
表示色設定	3色		
チャンネル	1～15チャンネル		
使用温度	0℃～40℃		

●中継機(リピーター)

型 式	F-500
サイズ(W×D×H)	170×85×40mm(アンテナ部含まず)
重 量	約200g
電 源	DC6V専用アダプター
送受信周波数	426.025MHz～(特定小電力)
送受信方式	単信方式
送信出力	1mW
チャンネル	1～15チャンネル
中継機番号設定	1～15
使用温度	0℃～40℃
消費電力	約3W(ピーク時)

※専用取付金具有り(別売)

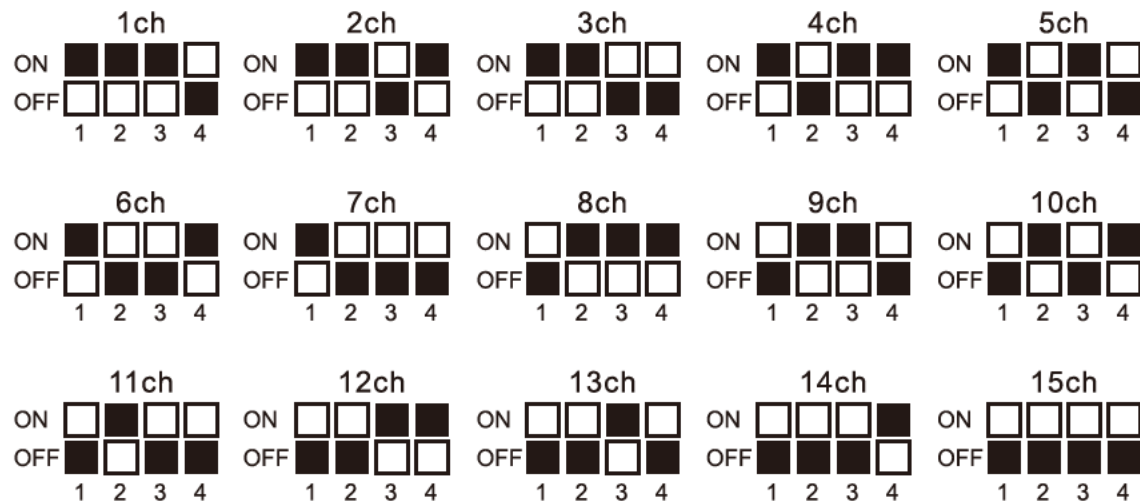
●受信スピーカー

型 式	F-600
サイズ(W×D×H)	166×82×42mm(アンテナ部含まず)
重 量	約225g
電 源	DC6V専用アダプター
受信周波数	426.025MHz～(特定小電力)
受信方式	単信方式
受信距離	約100m(使用環境により変わります)
鳴動回数設定	ディップスイッチにて8種類
音量調節	回転式ボリューム(無段階)
スピーカー出力	300mW
チャンネル	1～15チャンネル
使用温度	0℃～40℃

ディップスイッチ設定一覧

※ □がディップスイッチの位置となります。

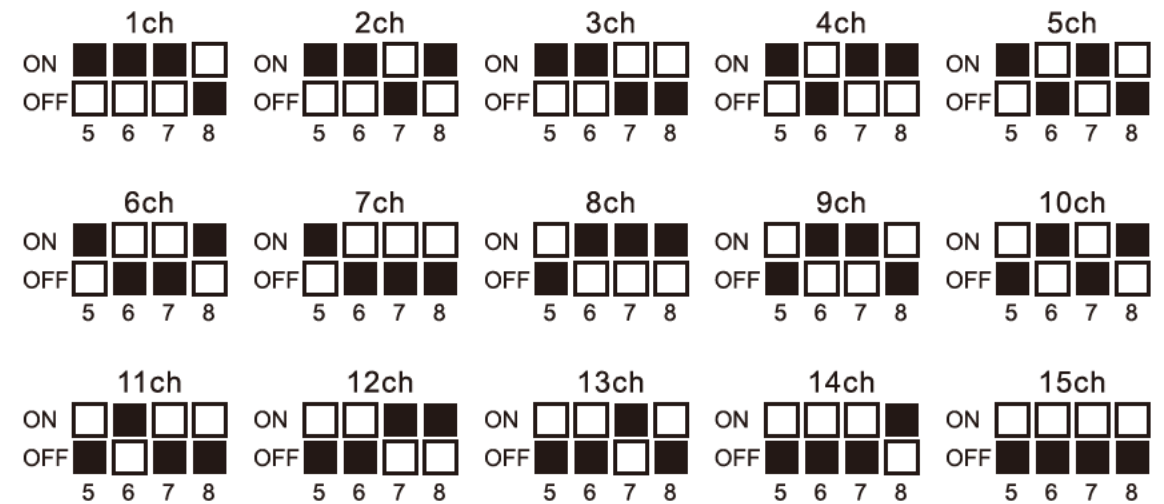
●送信機・中継機(リピーター)チャンネル変更ディップスイッチ (SW2)



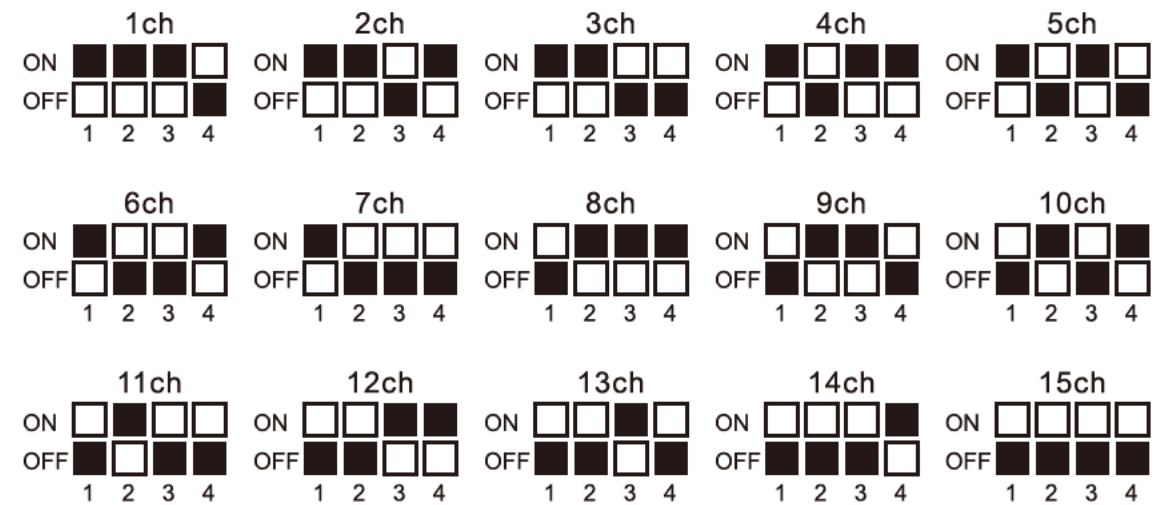
●送信機音色変更ディップスイッチ (SW3)



●受信表示機・受信スピーカー・携帯受信表示機共通チャンネル変更ディップスイッチ (SW1)



●消去&設定機チャンネル変更ディップスイッチ (SW1)



MEMO



MEMO

